

328
368



始





文學士 和田萬吉著

本日
近代畫家在世年表

東京 丸善株式會社

大正
4. 2. 10
内交



總序

文藝諸家に關する年表の刊行せられしもの甚だ多く、其長短得失亦一ならず。然れども其最も完備の稱あるものと雖も、僅に個々の作家を其生歿兩年代の下に掲出せるに過ぎず。普通のものに在りては、單だ一たび之を其終歿年代の下に掲げて享年を註するに止まれり。故に或年に於て並存せし人の誰々なるか、又其少長關係は如何といふ事につきては一も教ふる所ある無し。又或作家につきて某年幾許の齡にて存在せしかを知らんとするに當りても、先づ表中の生歿年代を搜索したる後、順算逆推の勞を執らざるべからず。便ち知る此等の年表は多くの場合に於て事實を検索する

間接の手段たるを失はざれども、直に事實其ものを指示するの具たる能はざるを、抑、年表の書たるや流讀一過以て其用を果すべき所以の者に非ず、學者居常之を几邊に置きて不時咄嗟の要に備ふるを主とするものなるに、從來編製其體を得ずして爲に究竟の目的に副はざるは太だ遺憾と謂ふべし。

編者こゝに觀る所あり、前代未だ曾て有らざる法式により、文藝諸家を其すべての在世年代に繋けて年齒順に排次し、此くして一面には或一作家の活動時代を通じて其存在をあらはし、他面には或一年に並存せる多數作家の長幼關係を知らしめ、孰れの年代につきても一目以て先進後進相紹ぎ師弟父子相承くるの狀を歴然たらしめんとせり。尙卷尾

に表出作家索引を附録し、各家の歿年及享年を註し、且表中所出の年代を約記したれば、之によりて簡便に個々作家の時代を求め得ると同時に本文に參照して自餘諸家との干繋を窺ふを得べし。

今我國近代の文藝家を分ちて畫家、國文學家、儒家等とし、同一體例の下に數編を作り、逐時刊行以て一般學者及文藝鑒賞家の備忘に資せんとす。惟ふに此くの如き小冊も編纂に際して多少の苦心無き能はず。蓋し典據すべき文籍記録往々名家の傳歴に關して一致を闕ける所ありて其孰れが是なるかを決し難き、又世に聞えたる人にして意外にも其生歿年代の瞭かならざる等、猶批評傳記家が研究の餘地を存せるもの尠からざればなり。編者は及ぶ限り信憑すべき文

籍を涉獵し、往々先行諸年表の誤を發見して之を本編に是正したりと雖も、尙若干の誤謬若しくは不完全の件無きを保せず。大方の識者幸に垂教の勞を吝むなかれ。

大正三年冬日

編者識す

例言

一 本年表は我國近代畫家の在世年代を示す目的を以て作れるものにて、徳川時代を中心として永祿二年より大正二年に至る三百五十餘年間に係れり。

一 凡そ畫家は其流派の如何に拘らず一家を成して名聲ある者を探りたれども、強て博搜網羅を期せず。是れ掲出の人員愈饒多なれば檢索の勞愈加はりて、却て主要なる作家を不鮮明ならしむる嫌あればなり。但繪事を本業とせずと雖も其技倆尋常ならざる人は努めて之を採收せり。

一 大正三年現在の畫家は年齒の少長を論せず總て之を採録せず。

一 作家を收載する方針は其二十餘歳に至るまでを修業時代として擧げず、二十五歳より始て表中に收めて以て歿年に至る。但夙成又は早世の輩に限り特に其二十歳より收めたり。終歿を示すには其人の享年の下に「符

を附して之を明かにせり。

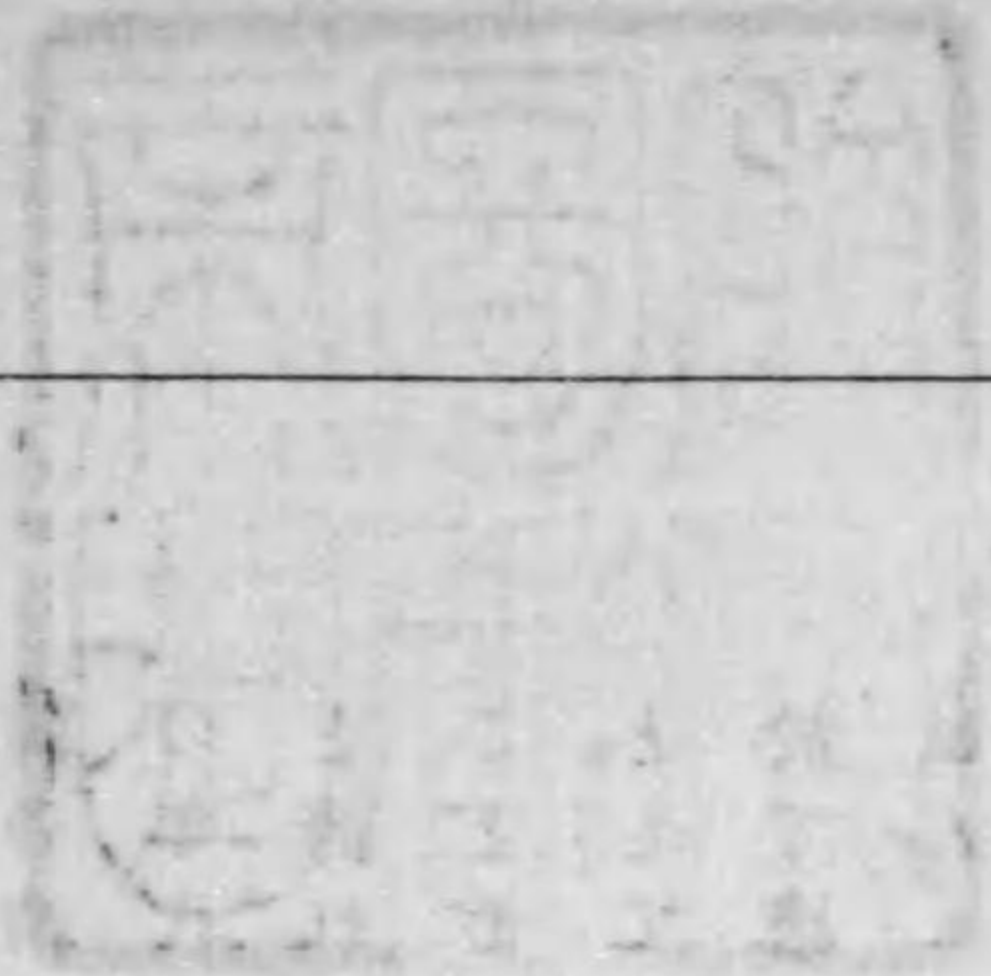
一年代は通算に便なる神武紀元年數を本位として之を第一捕提語とちごひごに充て、下に參照として相當西曆紀元年數を加へ別に第二捕提語たる我が年數數を掲げて干支を註し、其下に支那年號數を參照せしめたり。

一年代に關聯して必要なる天皇、攝關、輔弼、將軍、執政等の名は歷年之を掲げ、且年中の顯著なる事件若干を附録して表中人物の歷史上位置を略示せんとせり。

一本編は素と物故畫家在世の正確なる年代を示すを旨とせるを以て、該年代の全く不明なる者は較、知名の作家と雖も之を採らず。但享年は不詳なれど歿年の分明なる者及存在年代の略、推斷せらるべき者は之を下段に收めて參考に資したり。此分には博雅の示教を俟ちて刊正すべきもの少からざるべしと信す。

一本編は作家の行年書ある圖畫につきて其年代を確め又は年代の記ある

ものにつきて作家の年齢を索むるなど、繪畫鑒賞家の利用に供せらる、場合亦定めて多かるべし。蓋し作品につきて畫家の年代及年齢を明かならしむるは賞翫上最も有趣味の事に屬するのみならず、眞假の分岐亦此間の消息によりて輒く決すべき事あらん。編者嘗て一圖幅に作者下世後の年代を識せるものに遭遇せしことあり、又一畫匠の某大家に從學せりと誇れるもの、其實該畫工は師の歿後數歳を隔て、生れたるを發見せしことあり。此類の欺騙世に少からず、而も其害毒を被る者の絶えざるは、主として作家に對する時代上知識の缺乏せるによる。此小冊子若し此點に於て繪畫賞翫者の坐右具たるを得ば、編者が本意半ば達せられたりと謂はん。



Main text area on the right page, enclosed in a decorative border. The text is mostly illegible due to fading.

紀元二二一九 (西曆二五五九)

永祿二(己未) (明嘉靖三八)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣) 將軍足利義輝

我邊民明の福安浙東を陥る。織田信長入京す。長尾景虎入京、關東管領となる。景虎將軍義輝に調す。本願寺院家に列す。



狩野元信 八四
徳力善章 六八
土岐洞文 五八
狩野之信雅樂 四七
弓削等薩 四四
狩野松榮 四一
海北友松 二七

御厨梅閑(?)
狩野玉樂
曾我紹安
山田道安
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
雲谷等顔

紀元二二二〇 (西曆一五六〇)

永祿三庚申 (明嘉靖三九)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣 又前嗣) 將軍足利義輝

天皇御即位。毛利元就父子御即位の資を獻す。桶狭間の戰。松平元康(德川家康)今川氏を去りて岡崎に遷る。長尾景虎内裡修理の資を獻す。景虎厩橋城に據る。松永久秀天主關を起す。今川義元戰死。古河晴氏卒。尼子晴久卒。

德力善章 六九
土岐洞文 五九
狩野之信雅樂 四八
弓削等薩 四五
狩野松榮 四二
海北友松 二八

御厨梅閑(?)
狩野玉樂
曾我紹祥
山田道安世一
雪村周繼
狩野秀賴
木村永光
雲谷等顏

紀元二二二二 (西曆一五六二)

永祿四辛酉 (明嘉靖四〇)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣 又前嗣) 將軍足利義輝

松平元康織田信長と和す。長尾景虎大舉小田原城に逼る。信長齋藤龍興を攻む。六角義賢細川晴之を擁して三好氏を伐つ。川中島の戰(後役)。足利學校焚く。宣教使ウイレラ基督教を畿内に弘む。十河一存卒。齋藤義龍卒。武田信繁戰死。

德力善章 七〇
土岐洞文 六〇
狩野之信雅樂 四九
弓削等薩 四六
狩野松榮 四三
海北友松 二九

御厨梅閑(?)
狩野玉樂
曾我紹祥
山田道安世一
雪村周繼
狩野秀賴
木村永光
雲谷等顏

紀元二二二二 (西曆一五六二)

永祿五(壬戌) (明、嘉靖四二)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣) 將軍足利義輝

松平元康織田信長と盟ふ。六角義賢京都を抄掠す。信長齋藤龍興と戦ふ。義賢三好長慶と和す。毛利元就出雲に入る。幕府徳政を行ふ。上杉(長尾)景虎名を輝虎と改む。大村純忠基督教の洗禮を受く。三好義賢戦死。

徳力善章 七一
土岐洞文 六一
狩野之信雅 五〇
弓削等薩 四七
狩野松榮 四四
海北友松 三〇

御厨梅閑(？)
狩野玉樂
曾我紹祥
山田道安
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
雲谷等顔

紀元二二二三 (西曆一五六三)

永祿六(癸亥) (明、嘉靖四二)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣) 將軍足利義輝

上杉輝虎伊勢崎を陥る。將軍義輝毛利大友二氏を和せしむ。松平元康名を家康と改め今川氏と絶つ。毛利元就尼子倫久を破る。三河一向宗徒の亂。武田晴信北條氏政と合して上野に入る。細川晴元卒。毛利隆元卒。三條西公條薨。

徳力善章 七二
土岐洞文 六一
狩野之信雅 五〇
弓削等薩 四八
狩野松榮 四五
狩野友松 三一
土佐光吉 二五
長谷川等伯 二五

御厨梅閑(？)
狩野玉樂
曾我紹祥
山田道安
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
雲谷等顔

紀元二二二四 (西曆一三六四)

永祿七(甲子) (明、嘉靖四三)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣) 將軍足利義輝

國府藩の戦。上杉輝虎佐野昌綱を降す。一向宗徒家康に降る。將軍義輝上杉北條二氏を和せしむ。織田信長淺井氏と和す。毛利元就大舉尼子義久を伐つ。信長齋藤龍興を破り其居城稻葉山に移り岐阜と稱す。三好長慶卒。

徳力章七 七三
土岐洞文 六三
狩野之信雅樂 五二
弓削等薩 四九
狩野松榮 四六
海北友松 三三
土佐光吉 二六
長谷川等伯 二六

御厨梅閑(?)
狩野玉樂
曾我紹祥
山田道安世一
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
雲谷等顔

紀元二二二五 (西曆一五六五)

永祿八(乙丑) (明、嘉靖四四)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣) 將軍足利義輝

三好義繼松永久秀等將軍義輝を試す。義輝の弟覺慶(後義昭)幕府の恢興を圖る。武田晴信越中に入る。久秀天主堂を毀ち宣教師を逐ふ。

徳力善章 七四
土岐洞文 六四
狩野之信雅樂 五三
弓削等薩 五〇
狩野松榮 四七
海北友松 三三
土佐光吉 二七
長谷川等伯 二七

御厨梅閑(?)
狩野玉樂
曾我紹祥
山田道安世一
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
月船遮莫(?)
雲谷等顔

紀元二二二六 (西曆一五六六)

永祿九(丙寅) (明、嘉靖四五)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣)

松永久秀筒井順慶と戦ふ。島津義久伊東義祐を破る。上杉輝虎越中を略す。足利義昭朝倉義景に頼る。武田晴信上野を略す。毛利元就尼子義久を富田城に破り尼子氏を滅す。松平家康齋氏徳川に復す。近衛植家薨。

徳力善章 七五
土岐洞文 六五
狩野之信雅樂 五四
弓削等薩 五一
狩野松榮 四八
海北友松 三四
土佐光吉 二八
長谷川等伯 二八

御厨梅閑(?)
狩野玉樂(?)
曾我紹祥(?)
山田道安(世一)
雪村周繼(世一)
狩野秀頼
木村永光
月船遮莫(?)
雲谷等顔

紀元二二二七 (西曆一五六七)

永祿一〇(丁卯) (明、隆慶元)

正親町天皇 關白近衛前久(初晴嗣)

島津伊東二氏和す。織田信長女を徳川家康に嫁す。信長御料所回復の詔書を奉受す。北條氏康上杉輝虎を麻橋城に攻む。松永久秀三好氏を東大寺に破る。大佛殿焚く。加賀の一向宗徒朝倉義景と和す。南蠻船長崎に来る。

徳力善章 七六
土岐洞文 六六
狩野之信雅樂 五五
弓削等薩 五二
狩野松榮 四九
海北友松 三五
土佐光吉 二九
長谷川等伯 二九
狩野永徳 二五

御厨梅閑(?)
狩野玉樂(?)
曾我紹祥(世一)
山田道安(世一)
雪村周繼(世一)
狩野秀頼
木村永光
月船遮莫(?)
雲谷等顔

紀元二二二八 (西曆一五六八)

永祿一一(戊辰) (明、隆慶二)

正親町天皇 關白近衛前久—二條晴良 將軍足利義榮—足利義昭

織田信長伊勢の北部を略す。徳川家康遠江の諸城を降す。信長足利義昭を迎へて入京す。將軍義榮薨す。武田晴信今川氏眞を破る。徳川武田二氏駿遠分取を約す。上杉輝虎北條氏と盟ふ。

徳力善章 七七
土岐洞文 六七
狩野之信雅 五六
弓削等薩 五三
狩野松榮 五〇
海北友松 三六
土佐光吉 三〇
長谷川等伯 三〇
狩野永徳 二六

御厨梅閑(?)
狩野玉樂(?)
曾我紹祥
山田道安世一
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
月船遮莫(?)
雲谷等顔

紀元二二二九 (西曆一五六九)

永祿一二(己巳) (明、隆慶三)

正親町天皇 關白二條晴良 將軍足利義昭

織田信長入京す。徳川家康遠江を攻め今川氏眞出奔す。信長領内の關を撤し交易に錢を用ゐしむ。晴信上武二州を徇へ相駿を侵す。信長北畠具教と和す。上杉輝虎上野に入る。

徳力善章 七八
土岐洞文 六八
狩野之信雅 五七
弓削等薩 五四
狩野松榮 五一
海北友松 三七
土佐光吉 三一
長谷川等伯 一三
狩野永徳 二七

御厨梅閑(?)
山田道安世一
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
月船遮莫(?)
雲谷等顔

紀元二二三〇 (西曆一五七〇)

元龜元(庚午) (明、隆慶四)

正親町天皇 關白二條晴良 將軍足利義昭

德川家康岡崎より濱松に移る。毛利輝元等尼子氏の餘類を攻む。織田信長徳川家康相次で入京す。信長内裡の修營を視る。武田晴信伊豆を侵す。姉川の戦。本願寺先佐大阪に據る。織田朝倉二氏和す。

徳力善章 七九
土岐洞文 六九
狩野之信雅 五八
弓削等薩 五五
狩野松榮 五二
海北友松 三八
土佐光吉 三三
長谷川等伯 三二
狩野永徳 二八

御厨梅閑(?)
山田道安(一世)
雪村周繼
狩野秀頼
木村永光
月船遮莫
曾我直菴(?)
雲谷等顔

紀元二二三一 (西曆一五七二)

元龜二(辛未) (明、隆慶五)

正親町天皇 關白二條晴良 將軍足利義昭

大村純忠長崎に於て葡船と交易す。武田晴信三河に入り徳川家康と吉田に戦ふ。織田信長伊勢長島の一向宗徒を伐ち、淺井長政を攻め、比叡山を焚く。皇居の修營成る。今川氏眞徳川定康に頼る。毛利元就卒。島津貴久卒。北條氏康卒。

徳力善章 八〇
土岐洞文 七〇
狩野之信雅 五九
弓削等薩 五六
狩野松榮 五三
海北友松 三九
土佐光吉 三三
長谷川等伯 三三
狩野永徳 二九

御厨梅閑(?)
山田道安(一世)
雪村周繼(?)
狩野秀頼
木村永光(?)
月船遮莫
曾我直菴(?)
雲谷等顔

紀元二二三三二 (西曆一五七二)

元龜三(壬申) (明、隆慶六)

正親町天皇 關白二條晴良 將軍足利義昭

織田信長淺井長政を小谷城に攻む。上杉輝虎一向宗徒を富山城に攻む。信長將軍義昭を諫む。佐竹義重北條氏政を破る。三方原の戦始る。

徳力善章 八一
土岐洞文 七一
狩野之信雅 六〇
弓削等薩 五七
狩野松榮 五四
海北友松 四〇
土佐光吉 三四
長谷川等伯 三四
狩野永徳 三〇

御厨梅閑(?)
雪村周繼(?)
狩野秀頼(?)
木村永光(?)
月船遮莫(?)
曾我直菴(?)
雲谷等顔(?)

紀元二二三三三 (西曆一五七三)

天正元(癸酉) (明、萬曆元)

正親町天皇 關白二條晴良 將軍足利義昭

三方原の戦。武田晴信野田城を降す。義昭信長を討たんとして成らず、遂に信長に廢せらる、足利氏亡ぶ。淺井朝倉二氏亡ぶ。武田勝頼遠江に出兵す。武田晴信卒。朝倉義景遺害。淺井長政自盡。

徳力善章 八二
土岐洞文 七二
狩野之信雅 六一
弓削等薩 五八
狩野松榮 五五
海北友松 四一
土佐光吉 三五
長谷川等伯 三五
狩野永徳 三一
徳力善宗 二五

雪村周繼(?)
狩野秀頼(?)
木村永光(?)
月船遮莫(?)
曾我直菴(?)
雲谷等顔(?)

紀元二二三六 (西曆一五七六)

天正四(丙子) (明、萬曆四)

正親町天皇 關白二條晴良

織田信長安土城に移る。信長本願寺光佐を伐つ。足利義昭書を武田上杉二氏に贈りて毛利氏と共に信長を伐たしめんとす。毛利氏船糧を大阪石山城に送る。島津義久伊東氏と戦ふ。信長内大臣に任ず。北島長教遭害。

- 徳力善章 八五
- 土岐洞文 七五
- 狩野松榮 五八
- 海北友松 四四
- 土佐光吉 三八
- 長谷川等伯 三八
- 狩野永徳 三四
- 徳力善宗 二八

- 狩野秀頼(?)
- 弓削等薩(?)
- 木村永光(?)
- 月船遮莫
- 曾我直菴
- 雲谷等顔

紀元二二三七 (西曆一五七七)

天正五(丁丑) (明、萬曆五)

正親町天皇 關白二條晴良

松永久秀款を上杉氏に通ず。織田信長紀州雜賀を伐つ。里見義弘北條氏と和す。久秀信貴城に據りて信長に抗す。信長の將羽柴秀吉播磨を略す。上杉輝成明年の春を以て西上せんとす。信長右大臣となる。秀吉上月城を抜く。松永久秀自盡。伊達清宗卒。

- 徳力善章 八六
- 土岐洞文 七六
- 狩野松榮 五九
- 海北友松 四五
- 土佐光吉 三九
- 長谷川等伯 三九
- 狩野永徳 三五
- 徳力善宗 二九

- 狩野秀頼(?)
- 弓削等薩(?)
- 木村永光(?)
- 月船遮莫
- 曾我直菴
- 雲谷等顔

紀元二二三三八 (西曆一五七八)

天正六(戊寅) (明、萬曆六)

正親町天皇 關白二條晴良―九條兼孝

羽柴秀吉別所長治を三木城に攻む。毛利輝元の兵上月城を圍む。秀吉退却す。毛利氏の兵播磨より退く。荒木村重信長に叛く。
上杉輝虎卒。里見義弘卒。尼子勝久自盡。

德力善章 八七
土岐洞文 七七
狩野松榮 六〇
海北友松 四六
土佐光吉 四〇
長谷川等伯 四〇
狩野永徳 三六
德力善宗 三〇

狩野秀頼(?)
弓削等薩(?)
木村永光(?)
月船遮莫
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二三三九 (西曆一五七九)

天正七(己卯) (明、萬曆七)

正親町天皇 關白九條兼孝

羽柴秀吉丹生山城を拔く。北條武田二氏の兵駿河浮島原に戦ふ。安土宗論。北條德川二氏和す。宇喜多直家信長に降る。
三條西實枝薨。山科言繼薨。竹中重治卒。德川信康自盡。

德力善章 八八
土岐洞文 七八
狩野松榮 六一
海北友松 四七
土佐光吉 四一
長谷川等伯 四一
狩野永徳 三七
德力善宗 三一

狩野秀頼(?)
弓削等薩(?)
木村永光(?)
月船遮莫
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四〇 (西曆一五八〇)

天正八(庚辰) (明、萬曆八)

正親町天皇 關白九條兼孝

羽柴秀吉三木城を陥る。本願寺光佐信長に降る。秀吉進みて因伯の境を略す。龍造寺隆信筑後を徇ふ。別所長治自盡。最上義守卒。蘆名盛氏卒。

徳力善章 八九
土岐洞文 七九
狩野松榮 六二
海北友松 四八
土佐光吉 四二
長谷川等伯 四一
狩野永徳 三八
徳力善宗 三二
狩野秀信 二五

狩野秀頼(?)
弓削等薩(?)
木村永光(?)
月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四一 (西曆一五八二)

天正九(辛巳) (明、萬曆九)

正親町天皇 關白九條兼孝—一條内基

織田信長父子入京す。徳川家康武田氏の高天神城を取る。佐竹義重北條氏の兵を下野佐野に破る。羽柴秀吉鳥取城を拔き又淡路を定む。

吉川經家自盡。

徳力善章 九〇
土岐洞文 八〇
狩野松榮 六三
海北友松 四九
土佐光吉 四三
長谷川等伯 四三
狩野永徳 三九
徳力善宗 三三
狩野秀信 二六
本阿彌光悦 二五

木村永光(?)
月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四二 (西曆一五八二)

天正一〇(壬午) (明、萬曆一〇)

正親町天皇 關白一條內基 太政大臣近衛前久

織田信長伊勢神宮遷宮の資を獻せんと奏す。信長武田氏を滅す。羽柴秀吉姫路を發し備中冠山城を陥れ高松城を圍む。本能寺及二條城の變。秀吉毛利氏と和す。山崎の戰。徳川家康甲斐を征す。上杉景勝信濃に出兵す。秀吉入京す。北條氏直信濃に入り上杉景勝と戦ひて敗る。家康氏直と戦ふ。家康甲斐を定めて濱松に歸る。大友有馬大村の諸侯使を羅馬に遣はす。武田勝頼自盡。織田信長、信忠遭害。明智光秀殺さる。足利義氏卒。

徳力善章 九二
土岐洞文 八一
狩野松榮 六四
海北友松 五〇
土佐光吉 四四
長谷川等伯 四四
狩野永徳 四〇
徳力善宗 三四
狩野秀信祖 二七
本阿彌光悦 二六

木村永光(?)
月船遮莫
狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四三 (西曆一五八三)

天正一一(癸未) (明、萬曆一一)

正親町天皇 關白一條內基

賤岳の戰。前田玄以京都所司代となる。羽柴秀吉大阪城を修む。柴田勝家自盡。織田信孝自盡。

徳力善章 九二
土岐洞文 八一
狩野松榮 六五
海北友松 五一
土佐光吉 四五
長谷川等伯 四五
狩野永徳 四一
徳力善宗 三五
狩野秀信祖 二八
本阿彌光悦 二七
狩野山樂 二五

月船遮莫
狩野直笑(?)
曾我直笑
雲谷等顔

紀元二二四四 (西曆一五八四)

天正一二(甲申) (明萬曆一二)

正親町天皇 關白一條內基

德川家康織田信雄を援く、信雄羽柴秀吉と絶つ。島津義久龍造寺隆信を破る。大友宗麟使を葡國に送る。長久手の戦。長曾我部元親阿波讃岐を定む。信雄秀吉と和す。龍造寺隆信戦死。池田信輝、森長可戦死。伊達輝宗卒。

狩野松榮 六六
海北友松 五二
土佐光吉 四六
長谷川等伯 四六
狩野永徳 四二
徳力善宗 三六
狩野秀信祖 二九
本阿彌光悦 二八
狩野山樂 二六

月船遮莫
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四五 (西曆一五八五)

天正一三(乙酉) (明萬曆一三)

正親町天皇 關白二條昭實—豊臣秀吉

羽柴秀吉内大臣となる。秀吉長曾我部元親を伐つ。秀吉關白となる。五奉行を置く。秀吉佐々成政を降す。伊達政宗佐竹義重と戦ふ。

狩野松榮 六七
海北友松 五三
土佐光吉 四七
長谷川等伯 四七
狩野永徳 四三
徳力善宗 三七
狩野秀信祖 三〇
本阿彌光悦 二九
狩野山樂 二七

月船遮莫
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四六 (西曆一五八六)

天正一四(丙戌) (明萬曆一四)

正親町天皇—後陽成天皇 關白太政大臣豊臣秀吉

徳川家康秀吉と和し秀吉の妹を娶る。秀吉方廣寺を建つ。秀吉の母大政所徳川氏に質として岡崎に赴く。家康秀吉と大阪に會す。
正親町天皇御讓位、後陽成天皇御受禪。秀吉太政大臣となり姓を豊臣と賜はる。
吉川元春戰死。

- 狩野松榮 六八
- 海北友松 五四
- 土佐光吉 四八
- 長谷川等伯 四八
- 狩野永徳 四四
- 徳力善宗 三八
- 狩野秀信 祖 三二
- 本阿彌光悦 三〇
- 狩野山樂 二八

月船遮莫
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二四七 (西曆一五八七)

天正一五(丁亥) (明萬曆一五)

後陽成天皇 關白太政大臣豊臣秀吉

秀吉島津義久を征し之を降す。織田信雄内大臣となる。秀吉天正通寶を鑄る。
大村純忠卒。大友宗麟(義領)卒。島津家久卒。

- 狩野松榮 六九
- 海北友松 五五
- 土佐光吉 四九
- 長谷川等伯 四九
- 狩野永徳 四五
- 徳力善宗 三九
- 狩野秀信 祖 三二
- 本阿彌光悦 三一
- 狩野山樂 二九

月船遮莫
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二三四八 (西曆一五八八)

天正一六(戊子) (明、萬曆一六)

後陽成天皇 關白太政大臣豊臣秀吉

聚樂第に行幸。北野大茶會。

狩野松榮 七〇
海北友松 五六
土佐光吉 五〇
長谷川等伯 五〇
狩野永徳 四六
徳力善宗 四〇
狩野秀信^{西祖} 三三
本阿彌光悦 三三
狩野山樂 三〇

月船遮莫
狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二三四九 (西曆一五八九)

天正一七(己丑) (明、萬曆一七)

後陽成天皇 關白太政大臣豊臣秀吉

伊達政宗相馬盛胤及蘆名義廣を破る。秀吉上杉景勝佐竹義重をして政宗を討たしめんと計る。島津義久琉球王を伴ひて秀吉に諷す。秀吉徳川家康等諸將と北條氏征討を議す。秀吉基督教を禁す。秀吉朝鮮の來聘を促す。方廣寺の大佛成る。

狩野松榮 七一
海北友松 五七
土佐光吉 五一
長川谷等伯 五一
狩野永徳 四七
徳力善宗 四一
狩野秀信^{西祖} 三四
本阿彌光悦 三三
狩野山樂 三一
狩野光信 二五

月船遮莫
狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五〇 (西曆一五九〇)

天正一八(庚寅) (明、萬曆一八)

後陽成天皇 關白太政大臣豐臣秀吉

秀吉小田原城を圍み北條氏直を降し其所領八國を徳川家康に附す。伊達政宗小田原に來り秀吉に謁す。家康江戸城に入る。秀吉江戸を経て會津に抵り京都に凱旋す。内裡造營成る。秀吉朝鮮の使者を聚樂第に引見す。

狩野松榮 七二
海北友松 五八
土佐光吉 五二
長谷川等伯 五二
狩野永徳 四八
徳力善宗 四二
狩野秀信^祖 三五
本阿彌光悦^西 三四
狩野山樂 三二
狩野光信 二六

月船遮莫(?)
狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五一 (西曆一五九二)

天正一九(辛卯) (明、萬曆一九)

後陽成天皇 關白太政大臣豐臣秀吉—關白豐臣秀次

秀吉本願寺を京都に移す。秀吉沿海諸國に令して船艦を造らしむ。毛利輝元廣島に城きて移り居る。菊桐章の濫用を禁す。秀吉伊達政宗を仙臺に移封す。征韓の令下る。豐臣秀次内大臣、次で關白となる。家康關東諸國の爲に大小判金を造る。羽柴秀長薨。千宗易(利休)賜死。

狩野松榮 七三
海北友松 五九
土佐光吉 五三
長谷川等伯 五三
徳力善宗 四三
狩野秀信^祖 三六
本阿彌光悦^西 三五
狩野山樂 三三
狩野光信 二七

月船遮莫(?)
狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五二 (西曆一五九二)

文祿元(壬辰) (明、萬曆二〇)

後陽成天皇 太政大臣豊臣秀吉 關白左大臣豊臣秀次

豊臣秀次左大臣となる。秀吉征韓の師を起し肥前名護屋に至る。是より先諸將渡韓し數城を抜く。小西行長加藤清正漢城に入り黒田長政宗義智等平壤を取る。秀吉母の病を聞きて歸京す、大政所棄す。秀吉再び名護屋に至りて號令す。明の援韓軍山海關より朝鮮に進む。
本願寺光佐寂。

狩野松榮 七四
海北友松 六〇
土佐光吉 五四
長谷川等伯 五四
徳力善宗 四四
狩野秀信祖 三七
本阿彌光悦 三六
狩野山樂 三四
狩野光信 二八

月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五三 (西曆一五九三)

文祿二(癸巳) (明、萬曆二一)

後陽成天皇 太政大臣豊臣秀吉 關白左大臣豊臣秀次

明將李如松小西行長を平壤に圍む。小早川隆景等李如松を碧蹄館に破り、加藤清正之を開城に破る。明人沈惟敬和を乞ひ名護屋に来る。清正行長等晋州城を陥る。豊臣秀頼生る、秀吉大阪に還る。原田孫七郎秀吉の命により臺灣に赴きて入貢を促す。徳川家康藤原惺高を聘す。

海北友松 六一
土佐光吉 五五
長谷川等伯 五五
徳力善宗 四五
狩野秀信祖 三八
本阿彌光悦 三七
狩野山樂 三五
狩野光信 二九

月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五四 (西曆一五九四)

文祿三(甲午) (明、萬曆二二)

後陽成天皇 太政大臣豊臣秀吉 關白左大臣豊臣秀次

秀吉秀次家康等と吉野に遊行す。榮屋助右衛門呂宋より歸る。小西行長の二臣明主に謁して和議を約す。伏見城成る。明國にて得たる木綿の種子を大和に栽う。九條植通變。曲直瀬正慶歿。

海北友松 六二
土佐光吉 五六
長谷川等伯 五六
徳力善宗 四六
狩野秀信祖 三九
本阿彌光悦 三八
狩野山樂 三六
狩野光信 三〇

月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五五 (西曆一五九五)

文祿四(乙未) (明、萬曆二三)

後陽成天皇 太政大臣豊臣秀吉 關白左大臣豊臣秀次

秀吉秀次を高野山に逐ふ。徳川家康等秀頼奉戴を誓ふ。前田利家秀頼の傅となる。秀吉制令を公卿及諸將に頒つ。聚樂第を毀つ。秀吉養女を徳川秀忠に嫁す。租法を定む。家康武駿一兩小判金を造る。蒲生氏郷歿。豊臣秀次自盡。

海北友松 六三
土佐光吉 五七
長谷川等伯 五七
徳力善宗 四七
狩野秀信祖 四〇
本阿彌光悦 三九
狩野山樂 三七
狩野光信 三一
狩野孝信 二五

月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔

紀元二二五六 (西曆一五九六)

慶長元(丙申) (明、萬曆二四)

後陽成天皇 太政大臣豊臣秀吉

徳川家康内大臣となる。明使伏見城に来る、秀吉封册を抛つ。明使去る。

海北友松 六四
土佐光吉 五八
長谷川等伯 五八
徳力善宗 四八
狩野秀信祖 四一
本阿彌光悦 四〇
狩野山樂 三八
狩野光信 三二
狩野孝信 二六

月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔(?)
三谷等哲

紀元二二五七 (西曆一五九七)

慶長二(丁酉) (明、萬曆二五)

後陽成天皇 太政大臣豊臣秀吉

再び征韓の師を起す。脇坂安治等朝鮮の水軍を破る。呂宋及大泥國入貢す。勃版錦織段成る。明將楊鶴加藤清正等が蔚山に圍む。
足利義昭薨。青蓮院尊朝親王薨。

海北友松 六五
土佐光吉 五九
長谷川等伯 五九
徳力善宗 四九
狩野秀信祖 四二
本阿彌光悦 四一
狩野山樂 三九
狩野光信 三三
狩野孝信 二七

月船遮莫(?)
狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔(?)
三谷等哲

紀元二二五八 (西曆一五九八)

慶長三(戊戌) (明、萬曆二六)

後陽成天皇 太政大臣豐臣秀吉

宇喜多秀家 小早川隆景等 朝鮮より歸る。秀吉後事を徳川家康に託して葬す。外征諸將を召還す。島津義弘父子明軍を泗川に破る。

小早川隆景薨。

海北友松 六六
土佐光吉 六〇
長谷川等伯 六〇
徳力善宗 五〇
狩野秀信祖 四三
本阿彌光悦 四二
狩野山樂 四〇
狩野光信 三四
狩野孝信 二八

狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔(?)
三谷等哲

紀元二二五九 (西曆一五九九)

慶長四(己亥) (明、萬曆二七)

後陽成天皇

豊臣秀頼大阪城に移る。徳川家康誓紙を五奉行と互換す。官版四書五經成る。家康活字を以て孔子家語、六韜及三略を刊行せしむ。

前田利家薨。長曾我部元親卒。

海北友松 六七
土佐光吉 六一
長谷川等伯 六一
徳力善宗 五一
狩野秀信祖 四四
本阿彌光悦 四三
狩野山樂 四一
狩野光信 三五
狩野孝信 二九

狩野眞笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔(?)
三谷等哲

紀元二二六〇 (西曆一六〇〇)

慶長五(庚子) (明、萬曆二八)

後陽成天皇 關白九條兼孝

徳川家康貞親政要を活刷せしむ。上杉景勝石田三成と謀りて兵を集む。家康景勝を討たんとして大阪を發し下野小山に至り江月に歸る。石田三成兵を擧げて大垣城に進む。東軍之を圍む。關原の戰。毛利輝元家康と和す。家康父子大阪西丸に入る。家康毛利氏の領土を削滅す。家康京都に所司代を置く。英人アダムス(安針)江戸に来る。石田三成、小西行長等刑死。

海北友松 六八
土佐光吉 六二
長谷川等伯 六二
徳力善宗 五二
狩野秀信^{西祖} 四五
本阿彌光悅 四四
狩野山樂 四二
狩野光信 三六
狩野孝信 三〇
野々村宗達 二五

狩野真笑(?)
曾我直菴
雲谷等顔(?)
三谷等哲
長谷川信春

紀元二二六一 (西曆一六〇一)

慶長六(辛丑) (明、萬曆二九)

後陽成天皇 關白九條兼孝

徳川家康東海道に驛傳馬の制を行ふ。家康所領國郡に命じて地圖を製せしむ。家康銀座を伏見に置く、大小判金を造る。家康上杉景勝を削封し之を米澤に移す。家康伏見に學校を建て僧三要(元信)をして之を管せしむ。家康基督教を禁す。房總大地震。江戸大火。安南、柬埔寨、呂宋書を家康に贈る。板倉勝重京都所司代となる。

海北友松 六九
土佐光吉 六三
長谷川等伯 六三
徳力善宗 五三
狩野秀信^{西祖} 四六
本阿彌光悅 四五
狩野山樂 四三
狩野光信 三七
狩野孝信 三一
野々村宗達 二六

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益

紀元二二六二 (西曆一六〇二)

慶長七(壬寅) (明、萬曆三〇)

後陽成天皇 關白九條兼孝

東本願寺建つ。宗義智家康の命により朝鮮との條交を計る。交趾船物を家康に贈り太泥書を贈る。佐渡石見多く金銀を出す。
井伊直政卒。前田玄以卒。里村紹巴歿。

四四

海北友松 七〇
土佐光吉 六四
長谷川等伯 六四
徳力善宗 五四
狩野秀信祖 四七
本阿彌光悦 四六
狩野山樂 四四
狩野光信 三八
狩野孝信 三三
野々村宗達 二七
岩佐勝以 二五

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益

紀元二二六三 (西曆一六〇三)

慶長八(癸卯) (明、萬曆三一)

後陽成天皇 關白九條兼孝 將軍徳川家康

家康右大臣となり征夷大將軍に補す。板倉勝重京都司代となる。豊臣秀頼内大臣となる。家康孫女を秀頼に嫁す。宇喜多秀家父子八丈島に流さる。家康右大臣を辭す。徳川頼宣を水戸に封す。長崎奉行及伊勢山田奉行を置く。
武田信吉卒。里村昌叱歿。

海北友松 七一
土佐光吉 六五
長谷川等伯 六五
徳力善宗 五五
狩野秀信祖 四八
本阿彌光悦 四七
狩野山樂 四五
狩野光信 三九
狩野孝信 三三
野々村宗達 二八
岩佐勝以 二六
小堀政一甫 二五

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益

四五

紀元二二六四 (西曆一六〇四)

慶長九(甲辰) (明、萬曆三二)

後陽成天皇 關白九條兼孝 將軍德川家康

蝦夷統治の制を定めて松前慶廣に示す。東海東山北陸諸道に一里塚を作らしむ。京都堺長崎に蠶絲貿易の制を定む。
黒田孝高(如水)卒。小出秀政卒。

海北友松 七二
土佐光吉 六六
長谷川等伯 六六
徳力善宗 五六
狩野秀信祖 四九
本阿彌光悦 四八
狩野山樂 四六
狩野光信 四〇
狩野孝信 三四
野々村宗達 二九
岩佐勝以 二七
小堀政一甫 二六

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益

紀元二二六五 (西曆一六〇五)

慶長一〇(乙巳) (明、萬曆三三)

後陽成天皇 關白近衛信尹 將軍德川家康—徳川秀忠

朝鮮の使家康に伏見に謁す。家康吾妻鏡を活刷せしむ。豊臣秀頼右大臣となる。徳川秀忠内大臣となり征夷大將軍を拜す。一分
判金を造る。煙草始て舶來す、家康之を禁す。

織田秀信卒。大友義統卒。山内一豊卒。

海北友松 七三
土佐光吉 六七
長谷川等伯 六七
徳力善宗 五七
狩野秀信祖 五〇
本阿彌光悦 四九
狩野山樂 四七
狩野光信 四一
狩野孝信 三五
野々村宗達 三〇
岩佐勝以 二八
小堀政一甫 二七

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益

紀元二二六六 (西曆一六〇六)

慶長一一(丙午) (明、萬曆三四)

後陽成天皇 關白九條信尹—關白左大臣鷹司信房 將軍德川秀忠

江戸城の經營。家康武經七書を刊行す。島津氏に松平氏を興ふ。永樂錢を停め、鑄錢を行ふ。暹羅占城田彈に書を贈る。

榊原康政卒。木食上人應其寂。

海北友松 七四
土佐光吉 六八
長谷川等伯 六八
徳力善宗 五八
狩野秀信 五一
本阿彌光悦 五〇
狩野山樂 四八
狩野光信 四二
狩野孝信 三六
野々村宗達 三一
岩佐勝以 二九
小堀政一 二八
宮本二天 二五

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴

紀元二二六七 (西曆一六〇七)

慶長一二(丁未) (明、萬曆三五)

後陽成天皇 關白左大臣鷹司信房 將軍德川秀忠

天野康景興國寺城を棄て、亡命す。朝鮮の使入京次で江戸に来る。吉田了以富士川の舟路を作る。林道春幕府の侍講となる。徳川義直尾張に封ぜらる。代見城代を置く。家康駿府城に移る。此頃出雲の人國女歌舞伎を興行す。煙草諸國に弘まる。

松平忠吉薨。結城秀康薨。金森長近卒。僧承兌寂。

海北友松 七五
土佐光吉 六九
長谷川等伯 六九
徳力善宗 五九
狩野秀信 五二
本阿彌光悦 五一
狩野山樂 四九
狩野光信 四三
狩野孝信 三七
野々村宗達 三二
岩佐勝以 三〇
小堀政一 二九
宮本二天 二六
土佐光則 二五
石川丈山 二五

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二六八 (西曆一六〇八)

慶長一三(戊申) (明、萬曆三六)

後陽成天皇 關白左大臣鷹司信房—關白右大臣九條忠榮 將軍德川秀忠

比叡山の制法を定む。生駒一正淺野幸長妻孥を江戸に移す。京阪及堺の商人を江戸に招きて家宅を興ふ。
高力清長卒。

海北友松 七六
土佐光吉 七〇
長谷川等伯 七〇
徳力善宗 六〇
狩野秀信祖 五三
本阿彌光悦 五二
狩野山樂 五〇
狩野光信 四四
狩野孝信 三八
野々村宗達 三三
岩佐勝以 三一
小堀政一甫宗 三〇
宮本二天 二七
土佐光則 二六
石川丈山 二六
松花堂昭乘 二五

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二六九 (西曆一六〇九)

慶長一四(己酉) (明、萬曆三七)

後陽成天皇 關白右大臣九條忠榮 將軍德川秀忠

關西諸侯の人質を江戸に集收す。島津家久琉球を伐つ、琉球島津氏に歸す。幕府花山院忠長等諸公卿を罰す。諸侯に令して大船を造ることを禁す。幕府始て伊勢二宮の正遷宮を行ふ。諸侯に命じて名古屋の土木を助けしむ。徳川頼宣を駿遠に封じ徳川頼房を水戸城主とす。關人始て入貢し唐船始て来る。
田中吉政卒。京極高次卒。

海北友松 七七
土佐光吉 七一
長谷川等伯 七一
徳力善宗 六一
狩野秀信祖 五四
本阿彌光悦 五三
狩野山樂 五一
狩野孝信 三九
野々村宗達 三四
岩佐勝以 三三
小堀政一甫宗 三一
宮本二天 二八
土佐光則 二七
石川丈山 二七
松花堂昭乘 二六

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七〇 (西曆一六一〇)

慶長一五(庚戌) (明、萬曆二八)

後陽成天皇 關白右大臣九條忠榮 將軍德川秀忠

松平忠輝を越後高田城主とす。武家法度三條を頒つ。琉球王尙寧江戸に来る。本多正純をして勘合符を支那福建總督に求めしむ。
淺野長政卒。細川藤孝(幽齋)卒。本多忠勝卒。中院通勝薨。吉田宗恂歿。

海北友松 七八
土佐光吉 七二
長谷川等伯 七二
德力善宗 六二
狩野秀信祖 五五
本阿彌光悅 五四
狩野山樂 五二
狩野孝信 四〇
野々村宗達 三五
岩佐勝以 三三
小堀政一 三三
宮本二天 二九
土佐光則 二八
石川丈山 二八
松花堂昭乘 二七

曾我直菴
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七一 (西曆一六一一)

慶長一六(辛亥) (明、萬曆二九)

後陽成天皇―後水尾天皇 關白右大臣九條忠榮 將軍德川秀忠

後陽成天皇御讓位、後水尾天皇御受禪、次で御即位。家康二條城に秀頼と會見す。基督教を禁す。南蠻人の交易を許す。田中勝助ノビスパン(墨西哥)より歸る。明國商人に長崎にて交易を許す。
島津義久(龍伯)卒。本多康重卒。堀尾吉晴卒。加藤清正卒。久留島康親卒。平岩親吉卒。曲直瀬正琳(養安院)歿。

海北友松 七九
土佐光吉 七三
德力善宗 六三
狩野秀信祖 五六
本阿彌光悅 五五
狩野山樂 五三
狩野孝信 四一
野々村宗達 三六
岩佐勝以 三四
小堀政一 三三
宮本二天 三〇
土佐光則 二九
石川丈山 二九
松花堂昭乘 二八

曾我直菴(?)
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七二 (西曆一六一二)

慶長一七(壬子) (明、萬曆四〇)

後水尾天皇 關白右大臣九條忠榮—關白右大臣鷹司信尙 將軍德川秀忠

秀頼方廣寺大佛殿を再建す。京都の天主教會堂を毀ち布教を禁す。家康暹羅人を延見す。關船平戸に来る。亞瑪港及ノビスマン始て書を致す。

佐竹義重卒。蒲生秀行卒。近衛前久(龍山)薨。内藤信成卒。僧三要(元借)寂。

海北友松 八〇
土佐光吉 七四
徳力善宗 六四
狩野秀信祖 五七
本阿彌光悦 五六
狩野山樂 五四
狩野孝信 四二
野々村宗達 三七
岩佐勝以 三五
小堀政一甫 三四
宮本二天 三一
土佐光則 三〇
石川丈山 三〇
松花堂昭乘 二九
清巖宗渭 二五

曾我直菴(?)
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七三 (西曆一六一三)

慶長一八(癸丑) (明、萬曆四一)

後水尾天皇 關白右大臣鷹司信尙 將軍德川秀忠

奈良奉行を置く。公家法度を奏進す。家康英人を延見す。支倉常長等歐洲に赴く。江戸町奉行を置く。池田輝政卒。淺野幸長卒。

海北友松 八一
土佐光吉 七五
徳力善宗 六五
狩野秀信祖 五八
本阿彌光悦 五七
狩野山樂 五五
狩野孝信 四三
野々村宗達 三八
岩佐勝以 三六
小堀政一甫 三五
宮本二天 三三
土佐光則 三二
石川丈山 三一
松花堂昭乘 三〇
清巖宗渭 二六
狩野山雪 二五

曾我直菴(?)
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七四 (西曆一六一四)

慶長一九(甲寅) (明、萬曆四二)

後水尾天皇 關白左大臣鷹司信尙 將軍德川秀忠

京都の基督教會堂を毀ち教徒高山友祥等を阿瑪港に放つ。方廣寺大佛の鐘成る。片桐且元駿府に来る。家康大阪征討の令を發す。大阪冬陣。東西兩軍和議成る。

最上義光卒。仙石秀久卒。前田利長卒。松浦鎮信(宗靜)卒。船橋秀賢卒。吉田了以歿。織田信包歿。近衛信尹(三藏院)歿。

海北友松 八二
德力善宗 六六
狩野秀信 五九
本阿彌光悅 五八
狩野山樂 五六
狩野孝信 四四
野々村宗達 三九
岩佐勝以 三七
小堀政一 三六
宮本二天 三三
土佐光則 三二
石川丈山 三二
松花堂昭乘 三二
清巖宗渭 二七
狩野山雪 二六

曾我直菴(?)
三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七五 (西曆一六一五)

元和元(乙卯) (明、萬曆四三)

後水尾天皇 關白左大臣鷹司信尙 關白二條昭實 將軍德川秀忠

大阪城濠を填む。家康大阪より駿府に歸る。大阪再び兵を擧ぐ、家康征討を令す。大阪夏陣、豊臣氏亡ぶ。一國一城の制を定む。

豊國廟を廢す。禁裡、仙洞井に武家及佛家の諸法度を定む。朱印船を限定す。

宗義智卒。池田忠繼卒。豊臣秀頼自盡。木村重成戦死。長曾我部盛親刑死。片桐且元卒。金森可重卒。

海北友松 八三
德力善宗 六七
狩野秀信 六〇
本阿彌光悅 五九
狩野山樂 五七
狩野孝信 四五
野々村宗達 四〇
岩佐勝以 三八
小堀政一 三七
宮本二天 三四
土佐光則 三三
石川丈山 三三
松花堂昭乘 三二
清巖宗渭 二八
狩野山雪 二七

三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七六 (西暦一六一六)

元和二(丙辰) (明、萬曆四四)

後水尾天皇 關白二條昭實 將軍德川秀忠

家康太政大臣となる。家康薨す。幕府群書治要を刊す。松平忠輝(越後少將)の封を沒收す。唐船の交易及基督教を禁す。伊達政宗の家臣横澤將監南蠻に赴く。家康に東照大権現の號を賜ふ。煙草の栽培及賣買を禁す。人身賣買を禁す。麻疹流行。本多正信卒。池田利隆卒。小野通女歿。

德力善宗 六八
狩野秀信 祖六一
本阿彌光悅 六〇
狩野山樂 五八
狩野孝信 四六
野々村宗達 四一
岩佐勝以 三九
小堀政一 宗 三六
宮本二天 甫 三五
土佐光則 三四
石川丈山 三四
松花堂昭乘 三三
清巖宗渭 二九
狩野山雪 二八
狩野貞信 二〇

三谷等哲
長谷川信春
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七七 (西暦一六一七)

元和三(丁巳) (明、萬曆四五)

後水尾天皇 關白二條昭實 將軍德川秀忠

池田光政を因伯二州に封す。家康の遺骸を久能山より日光山に移葬す。後陽成上皇崩御。狩野守信(探幽)幕府の畫局に入る。庄司甚右衛門吉原遊廓を創す。最上家親卒。今出川晴季薨。

德力善宗 六九
狩野秀信 祖六一
本阿彌光悅 六〇
狩野山樂 五九
狩野孝信 四七
野々村宗達 四二
岩佐勝以 四〇
小堀政一 甫 三九
宮本二天 三六
土佐光則 三五
石川丈山 三五
松花堂昭乘 三四
清巖宗渭 三〇
狩野山雪 二九
狩野貞信 二一

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七八 (西曆一六一八)

元和四(戊午) (明、萬曆四六)

後水尾天皇 關白二條昭實 將軍德川秀忠

幕府大奥の法度を定む。平戸長崎二港を英國通商の地とす。
伊奈忠政卒。酒井家次卒。

徳力善宗 七〇
本阿彌光悦 六二
狩野山樂 六〇
狩野孝信 四八
野々村宗達 四三
岩佐勝以 四一
小堀政一 四〇
宮本二天 三七
土佐光則 三六
石川丈山 三六
松花堂昭乘 三五
清巖宗渭 三一
狩野山雪 三〇
狩野貞信 二二

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二七九 (西曆一六一九)

元和五(己未) (明、萬曆四七)

後水尾天皇 關白二條昭實 九條忠榮 將軍德川秀忠

福島正則の封安藝備後を没して淺野長晟に與へ、徳川頼宣を紀伊に封ず。基督教徒を京都に火刑す。金地院崇僧録司となる。
公卿十人を罰す。人身賣買を禁ず。大旱。板倉重宗京都所司代となる。
二條昭實薨。島津義弘(惟新)卒。藤原愷高歿。田付景澄歿。

徳力善宗 七一
本阿彌光悦 六三
狩野山樂 六一
野々村宗達 四四
岩佐勝以 四二
小堀政一 四一
宮本二天 三八
土佐光則 三七
石川丈山 三七
松花堂昭乘 三六
清巖宗渭 三三
狩野山雪 三一
江雪宗立 二五
狩野貞信 二三

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二八〇 (西曆一六二〇)

元和六(庚申) (明, 泰昌元)

後水尾天皇 關白九條忠榮 將軍德川秀忠

將軍秀忠の女和子入内。淺草米麩を始む。支倉常長歸朝す。江戸神田川を開鑿す。
蜂須賀至鎮卒。後藤光乘歿。

德力善宗 七二
本阿彌光悅 六四
狩野山樂 六二
野々村宗達 四五
岩佐勝以 四三
小堀政一^{甫宗} 四二
宮本二天 三九
土佐光則 三八
石川丈山 三六
松花堂昭乘 三七
清巖宗渭 三三
狩野山雪 三二
江雪宗立 二六
狩野貞信 二四

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二八一 (西曆一六二二)

元和七(辛酉) (明, 天啓元)

後水尾天皇 關白九條忠榮 將軍德川秀忠

江戸大火。暹羅國使江戸に来る。山田長政暹羅國使に托して書を土井利勝に呈す。阿瑪港人互市を乞ふ。
安藤重信卒。織田長益(有樂)卒。

德力善宗 七三
本阿彌光悅 六五
狩野山樂 六三
野々村宗達 四六
岩佐勝以 四四
小堀政一^{甫宗} 四三
宮本二天 四〇
土佐光則 三九
石川丈山 三九
松花堂昭乘 三八
清巖宗渭 三四
狩野山雪 三三
江雪宗立 二七
狩野貞信 二五

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我二直菴
狩野興以

紀元二二八二 (西曆一六二二)

元和八(壬戌) (明、天啓二)

後水尾天皇 關白九條忠榮 將軍德川秀忠

驛馬駄賃を定む。最上義俊の封を沒收す。本多正純の封を沒收す。中院通村東下。支倉常長歿。京極高知卒。

德力善宗 七四
本阿彌光悅 六六
狩野山樂 六四
野々村宗達 四七
岩佐勝以 四五
小堀政一 四四
宮本二天 四一
土佐光則 四〇
石川丈山 四〇
松花堂昭乘 三九
清巖宗渭 三五
狩野山雪 三四
江雪宗立 二八
狩野貞信 二六
海北友雪 二五

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我直菴
狩野興以

紀元二二八三 (西曆一六二三)

元和九(癸亥) (明、天啓三)

後水尾天皇 關白九條忠榮 關白左大臣近衛信尋 將軍德川秀忠 德川家光

幕府大奥の令を定む。松平忠直(越前少將)罪を得。營中の禮法を定む。將軍秀忠入京す。秀忠職を子家光に譲る。幕府禁裡御料一萬石を獻す。暹羅國使二條城に圖書を呈す。上杉景勝歿。黒田長政卒。

德力善宗 七五
本阿彌光悅 六七
狩野山樂 六五
野々村宗達 四八
岩佐勝以 四六
小堀政一 四五
宮本二天 四二
土佐光則 四一
石川丈山 四一
松花堂昭乘 四〇
清巖宗渭 三六
狩野山雪 三五
江雪宗立 二九
狩野貞信 二七
海北友雪 二六

野々口立圃 二五
住吉廣通 二五
德力善雪 二五

三谷等哲
長谷川信春(?)
雲谷等益
曾我直菴
狩野興以

紀元二二八四 (西曆一六二四)

寛永元(甲子) (明、天啓四)

後水尾天皇 關白左大臣近衛信尋 將軍德川家光

西班牙人薩摩に來る。松平忠長(駿河大納言)を駿遠甲三州に封ず。日光陽明門成る。朝鮮人來聘。中村勘三郎始めて江戸歌舞伎を興す。

板倉勝重卒。福島正則卒。秀吉夫人高臺院尼薨。

- 德力善宗 七六
- 本阿彌光悅 六八
- 狩野山樂 六六
- 野々村宗達 四九
- 岩佐勝以 四七
- 小堀政一 四六
- 宮本二天 四三
- 土佐光則 四二
- 石川丈山 四二
- 松花堂昭乘 四一
- 清巖宗渭 三七
- 狩野山雪 三六
- 江雪宗立 三〇
- 海北友雪 二七
- 野々口立圃 二六

住吉廣 通如二六
德力善雪 二六

三谷等哲
雲谷等益
曾我二直菴(?)
狩野興以

紀元二二八五 (西曆一六二五)

寛永二(乙丑) (明、天啓五)

後水尾天皇 關白左大臣近衛信尋 將軍德川家光

關所驛傳の制を定む。僧天海に忍阿の地を興へて伽藍を創せしむ、後東觀山寛永寺と云ふ。支那福建都督書を贈りて我邊民の暴掠を訴ふ。

成瀬正成卒。毛利輝元薨。永井直勝卒。

- 德力善宗 七七
- 本阿彌光悅 六九
- 狩野山樂 六七
- 野々村宗達 五〇
- 岩佐勝以 四八
- 小堀政一 四七
- 宮本二天 四四
- 土佐光則 四三
- 石川丈山 四三
- 松花堂昭乘 四二
- 清巖宗渭 三八
- 狩野山雪 三七
- 江雪宗立 三一
- 海北友雪 二八
- 野々口立圃 二七

住吉廣 通如二七
德力善雪 二七
本阿彌光甫 二五

三谷等哲
雲谷等益
曾我二直菴(?)
狩野興以

紀元二二八六 (西曆一六二六)

寛永三(丙寅) (明、天啓六)

後水尾天皇 關白左大臣近衛信尋 將軍徳川家光

大阪定番の制を定む。前將軍秀忠入京、次で將軍家光入京す。天皇二條城に行幸。基督教復流行す。忍岡に東照宮の社殿を作る。
山田長政軍艦圖を淺間社に奉納す。
内藤信正卒。脇坂安治卒。

徳力善宗	七八	住吉廣通	如二九
本阿彌光悅	七〇	徳力善雪	二八
狩野山樂	六八	本阿彌光甫	二六
野々村宗達	五一	狩野探幽	二五
岩佐勝以	四九		
小堀政一	四八		
宮本二天	四五		
土佐光則	四四		
石川丈山	四四		
松花堂昭乘	四三		
清巖宗渭	三九		
狩野山雪	三八		
江雪宗立	三三		
海北友雪	二九		
野々口立圃	二八		

三谷等哲
雲谷等益
曾我二直菴(?)
狩野興以

紀元二二八七 (西曆一六二七)

寛永四(丁卯) (明、天啓七)

後水尾天皇 關白左大臣近衛信尋 將軍徳川家光

僧侶出家の制を定む。東埔寒人來りて通商を請ふ。和蘭國王書を贈り來る。マカサゴ人來聘す。安南國書を贈り來る。津田又左衛門運羅より佛像を將來す。
蒲生忠郷卒。

徳力善宗	七九	住吉廣通	如二九
本阿彌光悅	七一	徳力善雪	二九
狩野山樂	六九	本阿彌光甫	二七
野々村宗達	五二	狩野探幽	二六
岩佐勝以	五〇		
小堀政一	四九		
宮本二天	四六		
土佐光則	四五		
石川丈山	四五		
松花堂昭乘	四四		
清巖宗渭	四〇		
狩野山雪	三九		
江雪宗立	三三		
海北友雪	三〇		
野々口立圃	二九		

三谷等哲
雲谷等益
曾我二直菴(?)
狩野興以

紀元二二八八 (西曆一六二八)

寬永五(戊辰) (明、崇禎元)

後水尾天皇 關白左大臣近衛信尋 將軍德川家光

長崎の基督教徒を罰す。濱田彌兵衛ヲカサゴに渡り蘭人を懲す。豊島信滿老中井上正就を營中に刺殺す。
毛利高政卒。小野次郎右衛門歿。今大路道三歿。菅原玄同歿。

德力善宗	八〇	德力善雪	三〇
本阿彌光悅	七二	本阿彌光甫	二八
狩野山樂	七〇	狩野探幽	二七
野々村宗達	五三		
岩佐勝以	五一		
小堀政一	五〇		
宮本二天	四七		
土佐光則	四六		
石川丈山	四六		
松花堂昭乘	四五		
清巖宗渭	四一		
狩野山雪	四〇		
江雪宗立	三四		
海北友雪	三一		
野々口立圃	三〇		
住吉廣通	三〇		

三谷等哲
雲谷等益
曾我二直庵(?)
狩野興以

紀元二二八九 (西曆一六二九)

寬永六(己巳) (明、崇禎二)

後水尾天皇 明正天皇 關白左大臣近衛信尋 關白攝政左大臣一條兼遐 將軍德川家光

江戸市中に辻番を設く。諸宗法度違犯の僧澤庵を出羽に、玉室を奥州に流す。武家法度を改定す。暹羅人來聘。山田長政暹羅使者に托して方物を獻じ通商の朱印を請ふ、之を允す。天皇遽に御讓位、明正天皇御受禪。

德力善宗	八一	德力善雪	三一
本阿彌光悅	七三	本阿彌光甫	二九
狩野山樂	七一	狩野探幽	二八
野々村宗達	五四		
岩佐勝以	五二		
小堀政一	五一		
宮本二天	四八		
土佐光則	四七		
石川丈山	四七		
松花堂昭乘	四六		
清巖宗渭	四二		
狩野山雪	四一		
江雪宗立	三五		
海北友雪	三三		
野々口立圃	三二		
住吉廣通	三二		

三谷等哲
雲谷等益
曾我二直庵(?)
狩野興以

紀元二二九〇 (西曆一六三〇)

寛永七(庚午) (明崇禎三)

明正天皇 攝政左大臣一條兼遐 將軍德川家光

林道春民部卿法印、弟東舟刑部卿法印となる。不受不施派僧日奥等を流す。天皇御即位。道春忍岡に學館を建つ。洋書の舶載を禁す。

織田信雄(常眞)薨。藤堂高虎卒。松倉重政卒。甲斐德本歿。杉田望一歿。

德力善宗	八二	往吉廣	通如	三三
本阿彌光悅	七四	德力善雪	慶如	三三
狩野山樂	七二	本阿彌光甫	三〇	三三
野々村宗達	五五	狩野探幽	二九	三三
岩佐勝以	五三	勝田竹翁	二五	三三
小堀政一	甫五二			
宮本二天	甫四九			
土佐光則	四八			
石川丈山	四八			
松花堂昭乘	四七			
清巖宗渭	四三			
狩野山雪	四二			
江雪宗立	三六			
海北友雪	三三			
野々口立圃	三二			

三谷等哲
雲谷等益
曾我直菴(?)
狩野興以

紀元二二九一 (西曆一六三二)

寛永八(辛未) (明崇禎四)

明正天皇 攝政左大臣一條兼遐 將軍德川家光

德川義直地球儀を幕府に獻す。軍船安宅丸を造る。

加藤嘉明卒。竹中重門卒。後藤徳乘歿。曲直瀬玄朔歿。

德力善宗	八三	德力善雪	三三
本阿彌光悅	七五	本阿彌光甫	三一
狩野山樂	七三	狩野探幽	三〇
野々村宗達	五六	勝田竹翁	二六
岩佐勝以	五四	狩野尙信	二五
小堀政一	甫五三		
宮本二天	甫五〇		
土佐光則	四九		
石川丈山	四九		
松花堂昭乘	四八		
清巖宗渭	四四		
狩野山雪	四三		
江雪宗立	三七		
海北友雪	三四		
野々口立圃	三三		
住吉廣通	度如三三		

雲谷等益
狩野興以

紀元二二九二 (西曆一六三二)

寛永九(壬申) (明、崇禎五)

明正天皇 攝政左大臣一條兼遐 將軍德川家光

前將軍秀忠薨す。家光諸侯の去就を試みる。加藤忠廣(肥後國主)の封を没收す。池田光仲を因伯二國に、池田光政を備前に移封す。徳川忠長(駿河大納言)の封を没收す。細川忠利(豊前國主)を肥後に移封す。始て大目付を置く。淨庵玉室兩僧を召還す。林道春(聖廟)を忍岡に建つ。池田忠雄卒。淺野長晟卒。角倉素庵歿。

徳力善宗	八四	住吉廣通	如三四
本阿彌光悅	七六	徳力善雪	三四
狩野山樂	七四	本阿彌光甫	三三
野々村宗達	五七	狩野探幽	三一
岩佐勝以	五五	勝田竹翁	二七
小堀政一	甫五四	狩野尙信	二六
宮本二天	五一	一絲文守	二五
土佐光則	五〇		
石川丈山	五〇		
松花堂昭乘	四九		
清巖宗渭	四五		
狩野山雪	四四		
江雪宗立	三八		
海北友雪	三五		
野々口立圃	三四		

雲谷等益
狩野興以

紀元二二九三 (西曆一六三三)
寛永一〇(癸酉) (明、崇禎六)

明正天皇 攝政一條兼遐 將軍德川家光

巡檢使を諸國に派す。軍役の制を定む。外國渡往船條例を發布す。黒田家の疑獄決す。將軍蘭國船長を延見す。將軍忍岡の聖廟を拜す。公事裁判の制を定む。諸國大地震。僧崇傳寂。佐竹義宣卒。堀尾忠晴卒。徳川忠長賜死。

徳力善宗	八五	住吉廣通	如三五
本阿彌光悅	七七	徳力善雪	三五
狩野山樂	七五	本阿彌光甫	三三
野々村宗達	五八	狩野探幽	三一
岩佐勝以	五六	勝田竹翁	二八
小堀政一	甫五五	狩野尙信	二七
宮本二天	五二	一絲文守	二六
土佐光則	五一		
石川丈山	五一		
松花堂昭乘	五〇		
清巖宗渭	四六		
狩野山雪	四五		
江雪宗立	三九		
海北友雪	三六		
野々口立圃	三五		

雲谷等益
狩野興以

紀元二二九四 (西曆一六三四)

寛永一一(甲戌) (明、崇禎七)

明正天皇 攝政一條兼選 將軍德川家光

諸侯の江戸防火擔任始まる。將軍關人及阿瑪港人を延見す。豆州沿海の圖を製らしむ。長崎に外國往來及基督教禁止の制札を立つ。譜代諸侯の妻孥を江戸に置かしむ。伊賀越の復讐。
真田信幸卒。大橋宗桂歿。

德力善宗	八六	住吉廣通	三六
本阿彌光悅	七八	德力善雪	三六
狩野山樂	七六	本阿彌光甫	三四
野々村宗達	五九	狩野探幽	三三
岩佐勝以	五七	勝田竹翁	二九
小堀政一	五六	狩野尙信	二八
宮本二天	五三	一絲文守	二七
土佐光則	五二		
石川丈山	五二		
松花堂昭乘	五一		
清巖宗渭	四七		
狩野山雪	四六		
江雪宗立	四〇		
海北友雪	三七		
野々口立圃	三六		

雲谷等益
狩野興以
喜多川相説(?)

紀元二二九五 (西曆一六三五)

寛永一二(乙亥) (明、崇禎八)

明正天皇 攝政左大臣二條康道 將軍德川家光

宗義成柳川調興の疑獄決す。諸侯の參勤交替を制定す。重れて基督教を嚴禁し教徒二十八萬人を誅す。老中及若年寄始まる。評定所の制を定む。
安藤直次卒。神谷宗湛歿。

德力善宗	八七	住吉廣通	三七
本阿彌光悅	七九	德力善雪	三七
狩野山樂	七七	本阿彌光甫	三五
野々村宗達	六〇	狩野探幽	三四
岩佐勝以	五八	勝田竹翁	三〇
小堀政一	五七	狩野尙信	二九
宮本二天	五四	一絲文守	二八
土佐光則	五三		
石川丈山	五三		
松花堂昭乘	五二		
清巖宗渭	四八		
狩野山雪	四七		
江雪宗立	四一		
海北友雪	三八		
野々口立圃	三七		

雲谷等益
狩野興以
喜多川相説(?)

紀元二二九六 (西曆一六三六)

寛永一三(丙子) (明崇禎九)

明正天皇 攝政左大臣二條康道 將軍徳川家光

江戸城の外郭外濠等を造營す。日光正遷宮を行ふ。箱根關令を定む。銅錢寛永通寶を造る、四民大に便を得。酒井忠世卒。伊達政宗卒。一柳直盛卒。里村昌琢歿。

徳力善宗	八八	本阿彌光甫	三六
本阿彌光悅	八〇	狩野探幽	三五
野々村宗達	六一	勝田竹翁	三一
岩佐勝以	五九	狩野尙信	三〇
小堀政一 <small>甫宗</small>	五八	一絲文守	二九
宮本二天	五五		
土佐光則	五四		
石川丈山	五四		
松花堂昭乘	五三		
清巖宗渭	四九		
狩野山雪	四八		
江雪宗立	四二		
海北友雪	三九		
野々口立圃	三八		
住吉廣通 <small>慶如</small>	三八		
徳力善雪	三九		

雲谷等益
狩野興以
喜多川相説(?)

紀元二二九七 (西曆一六三七)

寛永一四(丁丑) (明崇禎一〇)

明正天皇 攝政左大臣二條康道 將軍徳川家光

諸國に鑄錢所を置く。五人組の制を嚴にす。島原の亂。僧天海をして活字版一切經を刊行せしむ。

阿茶局歿。丹羽長重卒。松浦隆信卒。

徳力善宗	八九	本阿彌光甫	三七
本阿彌光悅	八二	狩野探幽	三六
野々村宗達	六二	勝田竹翁	三一
岩佐勝以	六〇	狩野尙信	三二
小堀政一 <small>甫宗</small>	五九	一絲文守	三〇
宮本二天	五六	狩野安信	二五
土佐光則	五五		
石川丈山	五五		
松花堂昭乘	五四		
清巖宗渭	五〇		
狩野山雪	四九		
江雪宗立	四三		
海北友雪	四〇		
野々口立圃	三九		
住吉廣通 <small>慶如</small>	三九		
徳力善雪	三九		

雲谷等益
喜多川相説(?)

紀元二二九八 (西暦一六三八)

寛永一五(戊寅) (明、崇禎一一)

明正天皇 攝政二條康道 將軍徳川家光 大老土井利勝、酒井忠勝

松平直政を出雲に封す。島原の亂平ぐ。松倉勝家(島原城主)の封を沒收し寺澤堅高(唐津城主)の封を削る。重ねて耶蘇教の禁を嚴にす。五百石以上の大船を作ること禁す。薬園を品川及牛込に設置す。諸國人の伊勢參宮をすること風をなす。始て大老を置く。

板倉重昌戰死。島津家久卒。松倉勝家刑死。烏丸光廣薨。林東舟卒。

野々村宗達	六三	本阿彌光甫	三八
岩佐勝以	六一	狩野探幽	三七
小堀政一	六〇	勝田竹翁	三三
宮本二天	五七	狩野尙信	三三
土佐光則	五六	一絲文守	三二
石川丈山	五六	狩野安信	二六
松花堂昭乘	五五	狩野春雪	二五
清巖宗渭	五一	萩坊乘圓	二五
狩野山雪	五〇		
江雪宗立	四四		
海北友雪	四一		
野々口立圃	四〇		
住吉廣通	四〇		
徳力善雪	四〇		

雲谷等益
喜多川相説(?)

紀元二二九九 (西暦一六三九)

寛永一六(己卯) (明、崇禎一二)

明正天皇 攝政二條康道 將軍徳川家光 大老土井利勝、酒井忠勝

外國との交易を嚴禁し和蘭と明國とに通商を許す。江戸城内紅葉山に文庫を建つ。江戸城火く。堀直寄卒。

野々村宗達	六四	狩野尙信	三三
岩佐勝以	六二	一絲文守	三三
小堀政一	六一	狩野安信	二七
宮本二天	五八	狩野春雪	二六
石川丈山	五七	萩坊乘圓	二六
松花堂昭乘	五六		
清巖宗渭	五二		
狩野山雪	五一		
江雪宗立	四五		
海北友雪	四二		
野々口立圃	四一		
住吉廣通	四一		
徳力善雪	四一		
本阿彌光甫	三九		
狩野探幽	三八		
勝田竹翁	三四		

雲谷等益
喜多川相説(?)

紀元二三〇〇 (西曆一六四〇)

寬永一七(庚辰) (明崇禎二三)

明正天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老土井利勝、酒井忠勝
旗下の土に節儉を令す。長崎に漂著の阿瑪港人六十餘人を戮す。江戸城中紅葉山寶藏成る。
三條西實條薨。

野々村宗達	六五	一	絲文守	三三
岩佐勝以	六三	狩	野安信	二八
小堀政一	六二	狩	野春雪	二七
宮本二天	五九	萩	坊乘圓	二七
石川丈山	五八			
清巖宗渭	五三			
狩野山雪	五二			
江雪宗立	四六			
海北友雪	四三			
野々口立圃	四二			
住吉廣道	四二			
徳力善雪	四二			
本阿彌光甫	四〇			
狩野探幽	三九			
勝田竹翁	三五			
狩野尚信	三四			

雲谷等益(?)
喜多川相説(?)

紀元二三〇一 (西曆一六四一)

寬永一八(辛巳) (明崇禎一四)

明正天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老土井利勝、酒井忠勝
江戸大火。諸家系圖の編纂を命ず、之を寬永大系圖三百七十卷とす、林道春春齋父子之に與る。關人居留地を平戸より長崎出島に移す。
細川忠利率卒。

野々村宗達	六六	狩	野尚信	三五
岩佐勝以	六四	一	絲文守	三四
小堀政一	六三	狩	野安信	二九
宮本二天	六〇	狩	野春雪	二八
石川丈山	五九	萩	坊乘圓	二八
清巖宗渭	五四	土	佐光起	二五
狩野山雪	五三			
江雪宗立	四七			
海北友雪	四四			
野々口立圃	四三			
住吉廣通	四三			
徳力善雪	四三			
本阿彌光甫	四一			
狩野探幽	四〇			
勝田竹翁	三六			

雲谷等益(?)
喜多川相説(?)
狩野興甫

紀元二三〇二 (西曆一六四二)

寬永一九(壬午) (明、崇禎一五)

明正天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老土井利勝、酒井忠勝

皇居造營成る。譜代諸侯參勤交替の制を定む。諸國飢饉。
有馬豊氏卒。立花宗茂卒。堀杏庵歿。

野々村宗達	六七	一絲文守	三五
岩佐勝以	六五	狩野安信	三〇
小堀政一	六四	狩野春雪	二九
宮本二天	六一	萩坊乘圓	二九
石川丈山	六〇	土佐光起	二六
清巖宗渭	五五		
狩野山雪	五四		
江雪宗立	四八		
海北友雪	四五		
野々口立圃	四四		
住吉廣通	四四		
徳力善雪	四四		
本阿彌光甫	四二		
狩野探幽	四一		
勝田竹翁	三七		
狩野尙信	三六		

雲谷等益(?)
喜多川相説(?)
狩野興甫
岩佐勝重

紀元二三〇三 (西曆一六四三)

寬永二〇(癸未) (明、崇禎一六)

明正天皇—後光明天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老土井利勝、酒井忠勝

加藤明成(會津城主)の封を没收す。諸侯引見の作法を定む。諸家系圖成る。天皇御讓位、後光明天皇御受禪、次で御即位。
春日局卒。僧天海寂。佐川田昌俊歿。

野々村宗達	六八	一絲文守	三六
岩佐勝以	六六	狩野安信	三一
小堀政一	六五	狩野春雪	三〇
宮本二天	六二	萩坊乘圓	三〇
石川丈山	六一	土佐光起	二七
清巖宗渭	五六		
狩野山雪	五五		
江雪宗立	四九		
海北友雪	四六		
野々口立圃	四五		
住吉廣通	四五		
徳力善雪	四五		
本阿彌光甫	四三		
狩野探幽	四二		
勝田竹翁	三八		
狩野尙信	三七		

雲谷等益(?)
喜多川相説(?)
狩野興甫
岩佐勝重

紀元二三〇四 (西曆一六四四)

正保元(甲申) (明、崇禎一七、清、順治元)

後光明天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老土井利勝、酒井忠勝
町人の長刀等を禁す。明國援を我に請ふ聽かず、此年明亡び清立つ。
土井利勝卒。

岩佐勝以	六七	狩野安信	三二
小堀政一	六六	狩野春雪	三二
宮本丈山	六三	萩坊乘圓	三二
石川丈山	六二	土佐光起	二八
清巖宗渭	五七		
狩野山雪	五六		
江雪宗立	五〇		
海北友雪	四七		
野々口立圃	四六		
住吉廣通	四六		
徳力善雪	四六		
本阿彌光甫	四四		
狩野探幽	四三		
勝田竹翁	三九		
狩野尙信	三八		
一絲文守	三七		

喜多川相説(?)
狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重

紀元二三〇五 (西曆一六四五)

正保二(乙酉) (清、順治二)

後光明天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老酒井忠勝
江戸の辻番を増設す。伊豆安房沿海警備の地を定む。
細川忠興(三齋)卒。僧澤庵寂。

岩佐勝以	六八	一絲文守	三八
小堀政一	六七	狩野安信	三三
宮本丈山	六四	狩野春雪	三三
石川丈山	六三	萩坊乘圓	三三
清巖宗渭	五八	土佐光起	二九
狩野山雪	五七		
江雪宗立	五一		
海北友雪	四八		
野々口立圃	四七		
住吉廣通	四七		
徳力善雪	四七		
逸然性融	四五		
本阿彌光甫	四五		
狩野探幽	四四		
勝田竹翁	四〇		
狩野尙信	三九		

喜多川相説(?)
狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重

紀元二三〇六 (西曆一六四六)

正保三(丙戌) (清、順治三)

後光明天皇 攝政二條康道 將軍德川家光 大老酒井忠勝

諸侯をして領國の地圖を製らしむ。明人鄭芝龍恢復を圖り援を請ふ、應ぜず。熊澤蕃山備前に復歸出仕す。
柳生宗矩卒。平田道仁歿。

岩佐勝以	六九	狩野安信	三四
小堀政一	六八	狩野春雪	三三
石川丈山	六四	萩坊乘圓	三三
清巖宗渭	五九	土佐光起	三〇
狩野山雪	五八		
江雪宗立	五二		
海北友雪	四九		
野々口立圃	四八		
住吉廣通	四八		
德力善雪	四八		
逸然性融	四六		
本阿彌光甫	四六		
狩野探幽	四五		
勝田竹翁	四一		
狩野尙信	四〇		
一絲文守	三九		

喜多川相説(?)
狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重

紀元二三〇七 (西曆一六四七)

正保四(丁亥) (清、順治四)

後光明天皇 攝政二條康道—九條道房—一條昭良(兼退) 將軍德川家光 大老酒井忠勝

佛人長崎に來り通商を乞ふ、聽かず。皇弟守澄親王輪王寺門跡となりて東下す。江戸大地震。
九條道房薨。酒井忠清卒。阿部正次卒。寺澤堅高自盡。岡本玄治歿。

岩佐勝以	七〇	狩野春雪	三四
小堀政一	六九	萩坊乘圓	三四
石川丈山	六五	土佐光起	三一
清巖宗渭	六〇		
狩野山雪	五九		
江雪宗立	五三		
海北友雪	五〇		
野々口立圃	四九		
住吉廣通	四九		
德力善雪	四九		
逸然性融	四七		
本阿彌光甫	四七		
狩野探幽	四六		
勝田竹翁	四二		
狩野尙信	四一		
狩野安信	三五		

喜多川相説(?)
狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重

紀元二三〇八 (西曆一六四八)

慶安元(戊子) (清、順治五)

後光明天皇 攝政關白(一條昭良(初兼退)) 將軍德川家光 大老酒井忠勝

海防につき警戒す。僧天海に慈眼大師を勅諡す。寛永寺所刊大藏經成る。明人鄭成功援を請ふ、亦應ぜず。那波活所殺。中江藤樹殺。

岩佐勝以 七二 萩坊乘圓 三五
石川丈山 六六 土佐光起 三三

清野山雪 六一
江雪宗立 五四
海北友雪 五一
野々口立圃 五〇
住吉廣通 五〇
德力善雪 五〇
逸然性融 四八
本阿彌光甫 四八
狩野探幽 四七
狩野竹翁 四三
狩野尚信 四二
狩野安信 三六
狩野春雪 三五

喜多川相説(?)
狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重

紀元二三〇九 (西曆一六四九)

慶安二(己丑) (清、順治六)

後光明天皇 關白(一條昭良(初兼退)) 將軍德川家光 大老酒井忠勝

檢地の制を定む。諸侯に令して節儉を守らしむ。江戸大地震。近衛信尋(應山)薨。木下勝俊(長嘯子)卒。谷時中歿。三宅奇書歿。

岩佐勝以 七二 萩坊乘圓 三六
石川丈山 六七 土佐光起 三三
清野山雪 六一 狩野益信 二五
江雪宗立 五五 小堀政尹 二五
海北友雪 五二
野々口立圃 五一
住吉廣通 五一
德力善雪 五一
逸然性融 四九
本阿彌光甫 四九
狩野探幽 四八
狩野竹翁 四四
狩野尚信 四三
狩野安信 三七
狩野春雪 三六

喜多川相説(?)
狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重

紀元二三一〇 (西曆一六五〇)

慶安三(庚寅) (清順治七)

後光明天皇 關白一條昭良(兼退) 將軍德川家光 大老酒井忠勝

營中の法令を定む。庶民の伊勢太神宮に参詣すること風をなす。江戸大地震。淺草寺觀音堂の工事を始む。
徳川義直薨。毛利秀元卒。幡隨意院長兵衛遭害。

岩佐勝以	七三	萩坊乘圓	三七
石川丈山	六八	土佐光起	三四
清巖宗渭	六三	狩野益信	二六
狩野山雪	六二	小堀政尹	二六
江雪宗立	五六		
海北友雪	五三		
野々口立圃	五二		
住吉廣通	五二		
徳力善雪	五二		
逸然性融	五〇		
本阿彌光甫	五〇		
狩野探幽	四九		
勝田竹翁	四五		
狩野尙信	四五		
狩野安信	四四		
狩野春雪	三八		
	三七		

喜多川相説(?)
狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲(?)

紀元二三一一 (西曆一六五二)

慶安四(辛卯) (清順治八)

後光明天皇 關白一條昭良(兼退) 關白左大臣近衛尙嗣 將軍德川家光 徳川家綱 輔佐保科正之

大老酒井忠勝

將軍家光薨す。大奥の仕女三千七百餘人を放つ。後水尾上皇御落飾。婦女の服制を立つ。由井丸橋の變。始て將軍宣下の禮を江戸に行ふ。浪人につきて警戒す。東叡山遊覽成る。
毛利秀就卒。水部勝成卒。堀田正盛阿部重次内田正信殉死。

石川丈山	六九	萩坊乘圓	三八
清巖宗渭	六四	土佐光起	三五
狩野山雪	六三	狩野益信	二七
江雪宗立	五七	小堀政尹	二七
海北友雪	五四		
野々口立圃	五三		
住吉廣通	五三		
徳力善雪	五三		
逸然性融	五一		
本阿彌光甫	五一		
狩野探幽	五〇		
勝田竹翁	四六		
狩野安信	三九		
狩野春雪	三八		

喜多川説相(?)
狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲(?)
野々村仁清

紀元二三三二 (西曆一六五二)

承應元(壬辰) (清順治九)

後光明天皇 關白左大臣近衛尙嗣 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠勝
若衆歌舞伎を禁す。張紙相場始まる。別木庄左衛門を磔す。浪人改につきて令す。

石川丈山 七〇
清宗 六五
江宗 五八
海友 五五
野々口立圃 五四
住吉廣通 五四
德力善雪 五四
逸然性融 五二
本阿彌光甫 五二
狩野探幽 五一
勝田竹翁 四七
狩野安信 四〇
狩野春雪 三九
萩坊乘圓 三九
土佐光起 三六
狩野益信 二八
小堀政尹 二八

喜多川相説(?)
狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲(?)
野々村仁清

紀元二三三三 (西曆一六五三)

承應二(癸巳) (清順治一〇)

後光明天皇 關白近衛尙嗣 關白左大臣二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠勝
玉川上水の起工。關人を召見して基督教を傳播せざらしむることを命ず。内裡焚く。砲臺を長崎に設く。
中院通村薨。近衛尙嗣薨。松永貞徳歿。脇坂安元(八雲軒)卒。

石川丈山 七一
清宗 六六
江宗 五九
海友 五六
野々口立圃 五五
住吉廣通 五五
德力善雪 五五
逸然性融 五三
本阿彌光甫 五三
狩野探幽 五二
勝田竹翁 四八
狩野安信 四一
狩野春雪 四〇
萩坊乘圓 四〇
土佐光起 三七
狩野益信 二九

小堀政尹 二九

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲(?)
野々村仁清

紀元二二三四 (西曆一六五四)

承應三(甲午) (清順治一一)

後光明天皇—後西院天皇 關白左大臣二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠勝

内裡造營の工を諸侯に課す。玉川上水の竣工。明僧隱元來化す。後光明天皇崩御。後西院天皇御踐祚。牧野親成京都所司代とな

る。 黒田忠之卒。小倉三省歿。末吉道節歿。

石川丈山	七二	狩野益信	洞三〇
清巖宗渭	六七	小堀政尹	雪三〇
江雪宗立	六〇		
海北友雪	五七		
野々口立圃	五六		
住吉廣通	五六		
德力善雪	五六		
逸然性融	五四		
本阿彌光甫	五四		
狩野探幽	五三		
勝野竹翁	四九		
狩野安信	四二		
狩野春雪	四一		
萩坊乘圓	四一		
土佐光起	三八		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲(?)
野々村仁清

紀元二二三五 (西曆一六五五)

明曆元(乙未) (清順治一二)

後西院天皇 關白左大臣二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠勝

新錢賣買を制定す。内裡成る。

戸田氏鐵卒。鈴木正三歿。板坂卜齋歿。

石川丈山	七三	狩野益信	洞三二
清巖宗渭	六八	小堀政尹	雪三一
江雪宗立	六一	住吉廣澄	具二五
海北友雪	五八		
野々口立圃	五七		
住吉廣通	五七		
德力善雪	五七		
逸然性融	五五		
本阿彌光甫	五五		
狩野探幽	五四		
勝野竹翁	五〇		
木庵性瑫	四五		
狩野安信	四三		
狩野春雪	四二		
萩坊乘圓	四二		
土佐光起	三九		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲(?)
野々村仁清

紀元二二二一六 (西曆一六五六)

明曆二(丙申) (清順治一三)

後西院天皇 關白左大臣二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠勝

天皇御即位。大老酒井忠勝罷む。鑄錢座を淺草に置く。江戸大火。關東諸國の盜賊を捕へしむ。
金森長近(宗和)卒。板倉重宗卒。

石川丈山	七四	狩野益信	洞三三
清巖宗渭	六九	小堀政尹	雪三二
江雪宗立	六二	住吉廣澄	具二六
海北友雪	五九		
野々口立圃	五八		
住吉廣通	五八		
德力善雪	五八		
逸然性融	五六		
本阿彌光甫	五六		
狩野探幽	五五		
勝田竹翁	五一		
木庵性瑠	四六		
狩野安信	四四		
狩野春雪	四三		
萩坊乘圓	四三		
土佐光起	四〇		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲(?)
野々村仁清

紀元二二二一七 (西曆一六五七)

明曆三(丁酉) (清順治一四)

後西院天皇 關白左大臣二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之

江戸大火、城市殆ど全滅し、燒死者十萬七千餘人(本郷丸山火事)。無縁寺同向院を建つ。徳川光圀彰考館を創す。
林道春卒。松永尺五歿。鍋島勝茂卒。古林見宜歿。鷹司信房歿。

石川丈山	七五	狩野益信	洞三三
清巖宗渭	七〇	小堀政尹	雪三三
江雪宗立	六三	住吉廣澄	具二七
海北友雪	六〇		
野々口立圃	五九		
住吉廣通	五九		
德力善雪	五九		
逸然性融	五七		
本阿彌光甫	五七		
狩野探幽	五六		
勝田竹翁	五二		
木庵性瑠	四七		
狩野安信	四五		
狩野春雪	四四		
萩坊乘圓	四四		
土佐光起	四一		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清

紀元二三一八 (西曆一六五八)

萬治元(戊戌) (清順治一五)

後西院天皇 關白左大臣二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠勝
江戸大火。市中大半燒亡す(駒込吉祥寺火事)。明人鄭成功援を請ふ。伊勢内宮火く。

石川丈山	七六	小堀政尹	三四
清巖宗渭	七一	住吉廣澄	二八
江雪宗立	六四	狩野永納	二五
海北友雪	六一		
野々口立圃	六〇		
住吉廣通	六〇		
德力善雪	六〇		
逸然性融	五八		
本阿彌光甫	五八		
狩野探幽	五七		
勝田竹翁	五三		
木庵性瑠	四八		
狩野安信	四六		
狩野春雪	四五		
萩坊乘圓	四五		
土佐光起	四二		
狩野益信	三四		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清

紀元二三一九 (西曆一六五九)

萬治二(己亥) (清順治一六)

後西院天皇 關白二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之
京都火く。長崎町人の新錢を鑄て外國貿易に用ゐるを許す。伊勢内宮成る。明人朱舜水歸化す。

石川丈山	七七	小堀政尹	三五
清巖宗渭	七二	住吉廣澄	二九
江雪宗立	六五	狩野永納	二六
海北友雪	六二	豐藏坊信海	二五
野々口立圃	六一		
住吉廣通	六一		
德力善雪	六一		
逸然性融	五九		
本阿彌光甫	五九		
狩野探幽	五八		
勝田竹翁	五四		
木庵性瑠	四九		
狩野安信	四七		
狩野春雪	四六		
萩坊乘圓	四六		
土佐光起	四三		
狩野益信	三五		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清

紀元二二二〇 (西曆一六六〇)

萬治三(庚子) (清、順治一七)

後西院天皇 關白二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之

堀田正信封事を幕府に上る。始て兩國橋を架す。森田太郎兵衛始て芝居を木挽町に開く。此頃明人陳元贊歸化し拳法を傳ふ。

大橋宗桂(二世)歿。出納職忠歿。江村剛齋歿。

石川丈山	七八	狩野益信	三六
清巖宗渭	七三	小堀政尹	三六
江雪宗立	六六	住吉廣澄	三〇
海北友雪	六三	狩野永納	二七
野々口立圃	六二	豐藏坊信海	二六
住吉廣通	六二	狩野常信	二五
德力善雪	六二		
逸然性融	六〇		
本阿彌光甫	六〇		
狩野探幽	五九		
勝田竹翁	五五		
木庵性瑠	五〇		
狩野安信	四八		
狩野春雪	四七		
萩坊乘圓	四七		
土佐光起	四四		

狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清

紀元二二二二 (西曆一六六一)

寬文元(辛丑) (清、順治一八)

後西院天皇 關白二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之

京都大火、皇居焚く。江戸圖を改正す。新に蘭人通商につきて令す。關所通過女手形の制を定む。徳川綱重を甲府に、徳川綱吉を館林に封す。庶民の伊勢參宮流行す。五穀豐熟。林春齋兵部卿法印となる。

林春徳(讀耕齋)歿。徳川頼房歿。

石川丈山	七九	土佐光起	四五
清巖宗渭	七四	狩野益信	三七
江雪宗立	六七	小堀政尹	三七
海北友雪	六四	住吉廣澄	三一
野々口立圃	六三	高泉性激	二九
住吉廣通	六三	狩野永納	二八
德力善雪	六三	豐藏坊信海	二七
逸然性融	六一	狩野常信	二六
本阿彌光甫	六一		
狩野探幽	六〇		
勝田竹翁	五六		
木庵性瑠	五一		
狩野安信	四九		
狩野春雪	四八		
萩坊乘圓	四八		

狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景

紀元二二三二二 (西曆一六六二)

寛文二(壬寅) (清康熙元)

後西院天皇 關白二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之

老中若年寄の所管を規定す。方廣寺の大佛を毀ちて文錢を造る。狩野探幽宮内卿法印となる。京都大地震。金銀相場の令を發す。古筆了佐受。松平信綱卒。酒井忠勝(空印)卒。

石川丈山	八〇	小堀政尹	三九
江雪宗立	六八	住吉廣澄	三三
海北友雪	六五	高泉性激	三〇
野々口立圃	六四	狩野永納	二九
住吉廣通	六四	豐藏坊信海	二八
德力善雪	六四	狩野常信	二七
逸然性融	六二		
本阿彌光甫	六二		
狩野探幽	六一		
勝田竹翁	五七		
木庵性瑠	五二		
狩野安信	五〇		
狩野春雪	四九		
萩坊乘圓	四九		
土佐光起	四六		
狩野益信	三八		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景

紀元二二三三三 (西曆一六六三)

寛文三(癸卯) (清康熙二)

後西院天皇—靈元天皇 關白(攝政)二條光平 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老榊原忠次

後西院天皇御讓位。靈元天皇御踐祚。次で御即位。林春齋に弘文院學士の號を與ふ。殉死の禁令を發す。江戸龜戸村に鑄錢座を置く。小幡景憲歿。古満休意歿。野中兼山歿。

石川丈山	八一	狩野益信	三九
江雪宗立	六九	小堀政尹	三九
海北友雪	六六	住吉廣澄	三三
野々口立圃	六五	高泉性激	三三
住吉廣通	六五	狩野永納	三〇
德力善雪	六五	狩野常信	二九
逸然性融	六三	豐藏坊信海	二九
本阿彌光甫	六三	狩野常信	二八
狩野探幽	六二	渡邊秀石	二五
勝田竹翁	五八		
木庵性瑠	五三		
狩野安信	五一		
狩野春雪	五〇		
萩坊乘圓	五〇		
土佐光起	四七		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二二二四 (西曆一六六四)

寛文四(甲辰) (清、康熙三)

靈元天皇 攝政二條光平 攝政左大臣鷹司房輔 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老榊原忠次
幕府の老臣連署の制を定む。本朝編年録の編纂を始む。本朝通鑑三百十卷是なり。林春齋等之に與る。基督教の禁を嚴にす。
水野十郎左衛門賜死。江村專齋歿。朝山意林庵歿。

石川丈山 八二
江雪宗立 七〇
海北友雪 六七
野々口立圃 六六
住吉廣通 六六
德力善雪 六六
逸然性融 六四
本阿彌光甫 六四
狩野探幽 六三
勝田竹翁 五九
木庵性瑠 五四
狩野安信 五二
萩坊乘圓 五一
土佐光起 四八
狩野益信 四〇

小堀政尹 蓬雪 四〇
住吉廣澄 慶具 三四
高泉性激 三三
狩野永納 三一
豐藏坊信海 三〇
狩野常信 二九
渡邊秀石 二六

狩野與甫
狩野與也
狩野勝重
岩佐高雲
神足村仁清
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二二二五 (西曆一六六五)

寛文五(乙巳) (清、康熙四)

靈元天皇 攝政左大臣鷹司房輔 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老榊原忠次
諸侯證人の制を廢す。不受不施派僧侶を罰す。徳川光圀領内の淫祠を毀つ。豐國廟の再興を許す。
里村玄陳歿。九條幸家歿。

石川丈山 八三
江雪宗立 七一
海北友雪 六八
野々口立圃 六七
住吉廣通 六七
德力善雪 六七
逸然性融 六五
本阿彌光甫 六五
狩野探幽 六四
勝田竹翁 六〇
木庵性瑠 五五
狩野安信 五三
狩野春雪 五二
萩坊乘圓 五二
土佐光起 四九
狩野益信 雲洞 四一

小堀政尹 蓬雪 四一
住吉廣澄 慶具 三五
高泉性激 三三
狩野永納 三二
豐藏坊信海 三一
狩野常信 三〇
渡邊秀石 二七

狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二三三二六 (西曆一六六六)

寛文六(丙午) (清、康熙五)

靈元天皇 攝政左大臣鷹司房輔 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠清
幕府諸役人に役料を支給す。徳川光圀領内の新寺院を毀つ。山鹿素行聖教要録を著して赤穂に配せらる。
二條康通薨。林春信(梅洞)歿。

石川丈山 八四
江雪宗立 七二
海北友雪 六九
野々口立圃 六八
住吉廣通 六八
徳力善雪 六八
逸然性融 六六
本阿彌光甫 六六
狩野探幽 六五
勝田竹翁 六一
木庵性瑠 五六
狩野安信 五四
狩野春雪 五三
萩坊乘圓 五三
土佐光起 五〇
狩野益信 四二

小堀政尹 四二
住吉廣澄 三六
高泉性激 三四
狩野永納 三三
豐藏坊信海 三二
狩野常信 三一
渡邊秀石 二八

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二三三二七 (西曆一六六七)

寛文七(丁未) (清、康熙六)

靈元天皇 攝政左大臣鷹司房輔 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠清
煙草の栽培を制限す。巡檢使を諸國に派す。今切荒井關の制を定む。將軍家綱吉川惟足を召見す。

石川丈山 八五
海北友雪 七〇
野々口立圃 六九
住吉廣通 六九
徳力善雪 六九
逸然性融 六七
本阿彌光甫 六七
狩野探幽 六六
勝田竹翁 六二
木庵性瑠 五七
狩野安信 五五
狩野春雪 五四
萩坊乘圓 五四
土佐光起 五一
狩野益信 四三
小堀政尹 四三

住吉廣澄 三
高泉性激 三五
狩野永納 三四
豐藏坊信海 三三
狩野常信 三二
渡邊秀石 二九
狩野雪信女 二五
加藤遠澤 二五

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二二三二八 (西曆一六六八)

寛文八(戊申) 清(康熙七)

靈元天皇 攝政關白鷹司房輔 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠清、井伊直澄
江戸大火。長崎港の輸入品を制限す。芝居及遊廓の事を規定す。板倉重矩京都所司代となる。殉死の禁を嚴にす。
僧元政寂。鷹司教平薨。

石川丈山	八六	住吉廣澄	三九
海北友雪	七一	高泉性激	三六
野々口立圃	七〇	狩野永納	三五
住吉廣通	七〇	豐藏坊信海	三四
德力善雪	七〇	狩野常信	三三
逸然性融	六八	渡邊秀石	三〇
本阿彌光甫	六八	狩野雪信女	二六
狩野探幽	六七	加藤遠澤	二六
勝田竹翁	六三	山口雪溪	二五
木庵性瑠	五八	渡邊秀岳	二五
狩野安信	五六		
狩野春雪	五五		
萩坊乘圓	五五		
土佐光起	五二		
狩野益信	四四		
小堀政尹	四四		

狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二二三一九 (西曆一六六九)

寛文九(己酉) 清(康熙八)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 輔佐保科正之 大老酒井忠清、井伊直澄
文錢を頒行す。蝦夷の亂平く。令して酒の醸造額を減じ煙草の栽培を制限す。
石田未得歿。

石川丈山	八七	住吉廣澄	三九
海北友雪	七二	高泉性激	三七
野々口立圃	七一	狩野永納	三六
住吉廣通	七一	豐藏坊信海	三五
德力善雪	七一	狩野常信	三四
本阿彌光甫	六九	渡邊秀石	三一
狩野探幽	六八	狩野雪信女	二七
勝田竹翁	六四	加藤遠澤	二七
木庵性瑠	五九	山口雪溪	二六
狩野安信	五七	渡邊秀岳	二六
狩野春雪	五六		
萩坊乘圓	五六		
土佐光起	五三		
狩野益信	四五		
小堀政尹	四五		

狩野與甫
狩野與也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清
久隅守景
菱川師宣

紀元二二三三〇 (西曆一六七〇)

寛文一〇(庚戌) (清、康熙九)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

長時代官末次平藏命を受けて撰造する所の關船成る。幕府大奥の制規を定む。徳川頼宣渾天儀を獻す。本朝通鑑成り之を朝廷に上る。

人見卜幽殺。

石川丈山	八八	住吉廣澄	四〇
海北友雪	七三	高泉性漱	三八
住吉廣通	七二	狩野永納	三七
徳力善雪	七二	豐藏坊信海	三六
本阿彌光甫	七〇	狩野常信	三五
狩野探幽	六九	渡邊秀石	三三
勝田竹翁	六五	狩野雪信女	二八
木庵性瑠	六〇	加藤遠澤	二八
狩野安信	五八	山口雪溪	二七
狩野春雪	五七	渡邊秀岳	二七
萩坊乘圓	五七	土佐光成	二五
土佐光起	五四	狩野春笑	二五
狩野益信	四六		
小堀政尹	四六		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清(?)
久隅守景
北島雪山
菱川師宣

紀元二二三三一 (西曆一六七二)

寛文一一(辛亥) (清、康熙一〇)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

伊達家(仙臺)の疑獄決し、伊達宗勝を土佐に流し其所領を宗家に收む。老中阿部忠秋罷む。

徳川頼宣薨。陳元贊歿。僧即非寂。

石川丈山	八九	狩野永納	三八
海北友雪	七四	豐藏坊信海	三七
徳力善雪	七三	狩野常信	三六
本阿彌光甫	七一	渡邊秀石	三三
狩野探幽	七〇	狩野雪信女	二九
勝田竹翁	六六	加藤遠澤	二九
木庵性瑠	六一	山口雪溪	二八
狩野安信	五九	渡邊秀岳	二八
狩野春雪	五八	土佐光成	二六
萩坊乘圓	五八	狩野春笑	二六
土佐光起	五五	桃田柳榮	二五
狩野益信	四七		
小堀政尹	四七		
住吉廣澄	四一		
高泉性漱	三九		

狩野興甫
狩野興也
岩佐勝重
神足高雲
野々村仁清(?)
久隅守景
北島雪山
菱川師宣
瀧本坊憲乘

紀元二二三三三二 (西曆一六七二)

寛文一二(壬子) (清康熙一一)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

牛込淨瑠璃坂の復讐。京阪及堺の町人に兩替及和蘭貿易につきて令す。池田光政隱居す。邦人外國渡航の禁を申れ、外國歸航者を誅せしむ。

一條昭良薨。千宗佐歿。大橋重政歿。保科正之卒。僧獨立(戴曼公)寂。

石川丈山	九	高泉性激	四〇
海北友雪	七五	狩野永納	三九
德力善雪	七四	豐藏坊信海	三八
本阿彌光甫	七二	狩野常信	三七
狩野探幽	七一	渡邊秀石	三四
勝田竹翁	六七	狩野雪信女	三〇
木庵性瑠	六二	加藤遠澤	三〇
狩野安信	六〇	山口雪溪	二九
狩野春雪	五九	渡邊秀岳	二九
萩坊乘圓	五九	土佐光成	二七
土佐光起	五六	狩野春笑	二七
狩野益信	四八	桃田柳榮	二六
小堀政尹	四八		
住吉廣澄	四二		

狩野興也
岩佐勝重
神足高雲(?)
久隅守景
北島雪山
菱川師宣
瀧本坊憲乘

紀元二二三三三三 (西曆一六七三)

延寶元(癸丑) (清康熙一二)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

京都大火、内裡焚く。四國中國九州大出水。英船長崎に來り互市を請ふ、聽かず。西園寺實晴薨。僧隱元寂。板倉重矩卒。片桐貞昌(未關)卒。安原貞室歿。

海北友雪	七六	豐藏坊信海	三九
德力善雪	七五	狩野常信	三八
本阿彌光甫	七三	渡邊秀石	三五
狩野探幽	七二	狩野雪信女	三一
勝田竹翁	六八	加藤遠澤	三一
木庵性瑠	六三	山口雪溪	三〇
狩野安信	六一	渡邊秀岳	三〇
狩野春雪	六〇	土佐光成	二八
萩坊乘圓	六〇	狩野春笑	二八
土佐光起	五七	桃田柳榮	二七
狩野益信	四九	高玄岱	二五
小堀政尹	四九		
住吉廣澄	四三		
高泉性激	四一		
狩野永納	四〇		

狩野興也
岩佐勝重
久隅守景
北島雪山
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二二三三四 (西曆一六七四)

延寶二(甲寅) (清、康熙二三)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

内裡造營始まる。松尾桃青深川に結廬す。

三國正真(筆鹿堂)歿。雞冠井令德歿。加藤龍齋歿。久我廣通薨。

海北友雪	七七	豐藏坊信海	四〇
德力善雪	七六	狩野常信	三九
本阿彌光甫	七四	渡邊秀石	三六
狩野探幽	七三	狩野雪信女	三三
勝田竹翁	六九	加藤遠澤	三三
木庵性瑫	六四	山口雪溪	三二
狩野安信	六二	渡邊秀岳	三一
狩野春雪	六一	土佐光成	二九
萩坊乘圓	六一	狩野春笑	二九
土佐光起	五八	桃田柳榮	二八
狩野益信	五〇	高玄岱	二六
小堀政尹	五〇		
住吉廣澄	四四		
高泉性激	四二		
狩野永納	四一		

久隅守景
北島雪山
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二二三三五 (西曆一六七五)

延寶三(乙卯) (清、康熙一四)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

山鹿素行の罪を赦す。京都大火。假皇居焚く。

阿部忠秋卒。

海北友雪	七八	狩野常信	四〇
德力善雪	七七	渡邊秀石	三七
本阿彌光甫	七五	狩野雪信女	三三
勝田竹翁	七〇	加藤遠澤	三三
木庵性瑫	六五	山口雪溪	三三
狩野安信	六三	渡邊秀岳	三一
狩野春雪	六二	土佐光成	三〇
萩坊乘圓	六一	狩野春笑	三〇
土佐光起	五九	桃田柳榮	二九
狩野益信	五一	高玄岱	二七
小堀政尹	五一		
住吉廣澄	四五		
高泉性激	四三		
狩野永納	四二		
豐藏坊信海	四一		

久隅守景
北島雪山
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二二三三六 (西曆一六七六)

延寶四(丙辰) (清、康熙一五)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清、井伊直澄

未次平藏父子密貿易の罪によりて隠岐に流さる。増上寺火く。京都大火。
大老井伊直澄卒。野間三竹歿。

海北友雪	七九	渡邊秀石	三八
德力善雪	七八	狩野雪信女	三四
本阿彌光甫	七六	加藤遠澤	三四
勝田竹翁	七一	山口雪溪	三三
木庵性瑠	六六	渡邊秀岳	三三
狩野安信	六四	土佐光成	三二
狩野春雪	六三	狩野春笑	三一
土佐光起	六〇	桃田柳榮	三〇
狩野益信	五二	高玄岱	二八
小堀政尹	五二	英一蝶	二五
住吉廣澄	四六		
高泉性漱	四四		
狩野永納	四三		
豐藏坊信海	四二		
狩野常信	四一		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二二三三七 (西曆一六七七)

延寶五(丁巳) (清、康熙一六)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清

永井尚庸卒。九條兼晴歿。

海北友雪	八〇	渡邊秀石	三九
德力善雪	七九	狩野雪信女	三五
本阿彌光甫	七七	加藤遠澤	三五
勝田竹翁	七二	山口雪溪	三四
木庵性瑠	六七	渡邊秀岳	三四
狩野安信	六五	土佐光成	三三
狩野春雪	六四	狩野春笑	三二
土佐光起	六一	桃田柳榮	三一
狩野益信	五三	高玄岱	二九
小堀政尹	五三	英一蝶	二六
住吉廣澄	四七	狩野洞簫	二五
高泉性漱	四五	古岡明譽	二五
狩野永納	四四	佐久間洞巖	二五
豐藏坊信海	四三		
狩野常信	四二		
心越與備	三九		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二二三三八 (西曆一六七八)

延寶六(戊午) (清、康熙一七)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清

東福門院和子崩す。江戸地震。
松平綱重薨。山本西武殿。牛井卜養殿。

德力善雪	八〇	渡邊秀石	四〇
本阿彌光甫	七八	狩野雪信女	三六
勝田竹翁	七三	加藤遠澤	三六
木庵性瑠	六八	山口雪溪	三五
狩野安信	六六	渡邊秀岳	三五
狩野春雪	六五	土佐光成	三三
土佐光起	六二	狩野春笑	三三
狩野益信	五四	桃田柳榮	三三
小堀政尹	五四	高玄	三〇
住吉廣澄	四八	英一	二七
高泉性激	四六	狩野洞簫	二六
狩野永納	四五	古碯明譽	二六
豐藏坊信海	四四	佐久間洞巖	二六
狩野常信	四三		
心越興備	四〇		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宜
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二二三三九 (西曆一六七九)

延寶七(己未) (清、康熙一八)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 大老酒井忠清

堀田正俊老中となる。松平光長(越後中將)初度の疑獄決す。平井權八を刑す。
飛鳥井雅章薨。土屋敷直卒。久世廣之卒。

德力善雪	八一	渡邊秀石	四一
本阿彌光甫	七九	狩野雪信女	三七
勝田竹翁	七四	加藤遠澤	三七
木庵性瑠	六九	山口雪溪	三六
狩野安信	六七	渡邊秀岳	三六
狩野春雪	六六	土佐光成	三四
土佐光起	六三	狩野春笑	三四
狩野益信	五五	桃田柳榮	三三
小堀政尹	五五	高玄	三一
住吉廣澄	四九	英一	二八
高泉性激	四七	狩野洞簫	二七
狩野永納	四六	古碯明譽	二七
豐藏坊信海	四五	佐久間洞巖	二七
狩野常信	四四	鶴澤探山	二五
心越興備	四一		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宜
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二三四〇 (西曆一六八〇)

延寶八(庚申) (清康熙一九)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川家綱 德川綱吉 大老酒井忠清

德川光圀一代要記、公卿補任補闕、扶桑拾葉集を獻す。將軍家綱薨す、綱吉嗣ぐ。後水尾法皇崩御。大老酒井忠清罷む。江戸大風雨。林鳳岡大藏卿法印となり弘文院學士の號を受く。
林春齋(鷺峯)卒。松江重頼歿。

德力善雪	八二	心越興備	四二	森川許六	二五
本阿彌光甫	八〇	渡邊秀石	四二		
勝田竹翁	七五	狩野雪信女	三八		
木庵性瑠	七〇	加藤遠澤	三八		
狩野安信	六八	山口雪溪	三七		
狩野春雪	六七	渡邊秀岳	三七		
土佐光起	六四	土佐光成	三五		
狩野益信	五六	狩野春笑	三五		
小堀政尹	五六	桃田柳榮	三四		
住吉廣澄	五〇	高玄岱	三三		
高泉性漱	四八	英一蝶	二九		
狩野永納	四七	狩野洞簫	二八		
豐藏坊信海	四六	古岡明譽	二八		
狩野常信	四五	佐久間洞巖	二八		
		鶴澤探山	二六		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘

紀元二三四一 (西曆一六八一)

天和元(辛酉) (清康熙二〇)

靈元天皇 關白鷹司房輔 將軍德川綱吉 大老堀田正俊

評定所の式法を定む。巡檢使を諸國に派す。僧亮賢をして護國寺を創せしめ院家に列す。町奉行島田忠政罪を得。越後家の獄再起。將軍綱吉親ら裁判し、松平光長の封を沒收し小栗美作父子に自盡を命じ永見大藏等を八丈島に流す。小倉實起父子佐渡に流さる。太神宮火く。僧鐵眼一切經の刊行を了す。
酒井忠清卒。

本阿彌光甫	八一	心越興備	四三	鶴澤探山	二七
勝田竹翁	七六	渡邊秀石	四三	森川許六	二六
木庵性瑠	七一	狩野雪信女	三九		
狩野安信	六九	加藤遠澤	三九		
狩野春雪	六八	山口雪溪	三八		
土佐光起	六五	渡邊秀岳	三八		
狩野益信	五七	土佐光成	三六		
小堀政尹	五七	狩野春笑	三六		
住吉廣澄	五一	桃田柳榮	三五		
高泉性漱	四九	高玄岱	三三		
狩野永納	四八	英一蝶	三〇		
豐藏坊信海	四七	狩野洞簫	二九		
狩野常信	四六	古岡明譽	二九		
		佐久間洞巖	二九		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
宮崎友禪

紀元二三四二 (西曆一六八二)

天和二(壬戌) (清・康熙二二)

靈元天皇 關白鷹司房輔一條冬經 將軍德川綱吉 大老堀田正俊

御澤保明をして大學を講せしむ。令して忠孝を勵まし奢侈を誡め基督教を禁す。木下順庵を幕府の儒員とす。安宅丸を毀つ。江戸大火。

朱舜水歿。山崎闇齋歿。西山宗因歿。石田未琢歿。僧職眼寂。

本阿彌光甫	八二	渡邊秀石	四四
勝田竹翁	七七	狩野雪信女	四〇
木庵性瑠	七二	加藤遠澤	四〇
狩野安信	七〇	山口雪溪	三九
狩野春雪	六九	渡邊秀岳	三九
土佐光起	六六	土佐光成	三七
狩野益信	五八	狩野春笑	三七
小堀政尹	五八	桃田柳榮	三六
住吉廣澄	五二	高玄岱	三四
高泉性澈	五〇	英一蝶	三一
狩野永納	四九	狩野洞簫	三〇
豐藏坊信海	四八	古岡明譽	三〇
狩野常信	四七	佐久間洞巖	三〇
心越與傳	四四	鶴澤探山	二八
		森川許六	二七

尾形光琳 二五

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
宮崎友禪

紀元二三四三 (西曆一六八三)

天和三(癸亥) (清・康熙二二)

靈元天皇 關白一條冬經 將軍德川綱吉 大老堀田正俊

川村瑞軒をして澁川筋を巡視せしむ。幕府に猿樂師を置く。油小路隆良罪を得。三河記を校正せしむ。林信篤人見友元木下順庵等之に與る。八百屋お七を刑す。松平忠輝卒。三宅道乙歿。

勝田竹翁	七八	加藤遠澤	四一
木庵性瑠	七三	山口雪溪	四〇
狩野安信	七一	渡邊秀岳	四〇
狩野春雪	七〇	土佐光成	三八
土佐光起	六七	狩野春笑	三八
狩野益信	五九	桃田柳榮	三七
小堀政尹	五九	高玄岱	三五
住吉廣澄	五三	英一蝶	三三
高泉性澈	五一	狩野洞簫	三二
狩野永納	五〇	古岡明譽	三二
豐藏坊信海	四九	佐久間洞巖	三一
狩野常信	四八	鶴澤探山	二九
心越與傳	四五	森川許六	二八
渡邊秀石	四五	尾形光琳	二六

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
宮崎友禪

紀元二三四四 (西曆一六八四)

貞享元(甲子) (清、康熙二二)

靈元天皇 關白一條冬經 將軍德川綱吉 大老堀田正俊

服忌令を頒つ。若年寄稻葉正休大老堀田正俊を營中に刺殺す。保井春海新曆(貞享曆)を撰進す、春海天文方を命ぜらる。松平忠冬東武實錄四十卷を獻す。

勝田竹翁	七九	山口雪溪	四一
木庵性瑠	七四	渡邊秀岳	四一
狩野安信	七二	土佐光成	三九
狩野春雪	七一	狩野春笑	三九
土佐光起	六八	桃田柳榮	三八
狩野益信	六〇	高玄	三六
小堀政尹	六〇	英一	三三
住吉廣澄	五四	狩野洞簫	三三
高泉性漱	五二	古岡明譽	三二
狩野永納	五一	鶴澤探山	三〇
豐藏坊信海	五〇	森川許六	二九
狩野常信	四九	尾形光琳	二七
心越興儔	四六	狩野周信	二五
渡邊秀石	四六		
加藤遠澤	四二		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
宮崎友禪

紀元二三四五 (西曆一六八五)

貞享二(乙丑) (清、康熙二四)

靈元天皇 關白一條冬經 將軍德川綱吉

後西院上皇崩御。住吉廣澄(具慶)繪所となる。山鹿素行歿。

勝田竹翁	八〇	渡邊秀岳	四二
狩野安信	七三	土佐光成	四〇
狩野春雪	七二	狩野春笑	四〇
土佐光起	六九	桃田柳榮	三九
狩野益信	六一	高玄	三七
小堀政尹	六一	英一	三四
住吉廣澄	五五	狩野洞簫	三三
高泉性漱	五三	古岡明譽	三三
狩野永納	五二	佐久間洞巖	三三
豐藏坊信海	五一	鶴澤探山	三一
狩野常信	五〇	森川許六	三〇
心越興儔	四七	尾形光琳	二八
渡邊秀石	四七	狩野周信	二六
加藤遠澤	四三		
山口雪溪	四二		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
宮崎友禪

紀元二三四六 (西曆一六八六)

貞享二(丙寅) (清、康熙二五)

靈元天皇 關白一條冬經 將軍德川綱吉

幕府瀨尾昌塚に命じ參府の關白に就きて外科術を習はしむ。僧隆光知足院に入る、次で護持院と改稱す。宗氏に命じ朝鮮貿易の金額を一萬八千兩に、島津氏に命じ琉球貿易の金額を二千兩に限定せしむ。三河記の校正竣る之を武徳大成記と云ふ。無賴の徒大小神祇組を逮捕す。松平信之卒。下河邊長流咬。

勝田竹翁	八二	山口雪溪	四三	渡邊秀朴	二五
狩野春雪	七三	土佐光成	四一		
土佐光起	七〇	狩野春笑	四一		
狩野益信	六二	挑田柳榮	四〇		
小堀政尹	六二	高玄岱	三八		
住吉廣澄	五六	英一蝶	三五		
高泉性激	五四	狩野洞簫	三四		
狩野永納	五三	古岡明譽	三四		
豐藏坊信海	五二	佐久間洞巖	三四		
狩野常信	五一	鶴澤探山	三三		
心越興信	四八	森川許六	三一		
渡邊秀石	四八	尾形光琳	二九		
加藤遠澤	四四	狩野周信	二七		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪

紀元二三四七 (西曆一六八七)

貞享四(丁卯) (清、康熙二六)

靈元天皇—東山天皇 關白(攝政)一條冬經 將軍德川綱吉

生類憐みの令を布く。飼犬保護野犬畜養を令す。魚鳥類の畜養を禁す。靈元天皇御讓位、東山天皇御踐祚、次で御即位、川村端軒が淀川疏通の功を賞す。大嘗會を復興す。

勝田竹翁	八二	土佐光成	四二
狩野春雪	七四	狩野春笑	四二
土佐光起	七一	桃田柳榮	四一
狩野益信	六三	高玄岱	三九
小堀政尹	六三	英一蝶	三六
住吉廣澄	五六	狩野洞簫	三五
高泉性激	五四	古岡明譽	三五
狩野永納	五四	佐久間洞巖	三五
豐藏坊信海	五三	鶴澤探山	三三
狩野常信	五二	森川許六	三三
心越興信	四九	尾形光琳	三〇
渡邊秀石	四九	狩野周信	二八
加藤遠澤	四五	尾形乾山	二六
山口雪溪	四四	小川破笠	二五
渡邊秀岳	四四		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛(?)
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪

紀元二三四八 (西曆一六八八)

元祿元(戊辰) (清、康熙二七)

東山天皇 攝政一條冬經 將軍徳川綱吉

將軍綱吉忍岡の聖廟に詣す。柳澤保明側用人となる。知足院を幕府の祈願所とし、隆光に縁を給す。四書直解を刊行す。大阪堂
島米相場を創む。
人見友元(竹洞)歿。

狩野春雪	七五	土佐光成	四三
狩野光起	七二	狩野春笑	四三
狩野益信	六四	桃田柳榮	四二
小堀政尹	六四	高玄岱	四〇
住吉廣澄	五八	英一蝶	三七
高泉性激	五六	狩野洞簫	三六
狩野永納	五五	古岡明譽	三六
豊藏坊信海	五四	佐久間洞巖	三六
狩野常信	五三	鶴澤探山	三四
心越與傳	五〇	尾形光琳	三一
渡邊秀石	五〇	狩野周信	二九
加藤遠澤	四六	渡邊秀村	二七
山口雪溪	四五	尾形乾山	二六
渡邊秀岳	四五	小川破笠	二六

鳥居清信 二五

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宜
吉田半兵衛(?)
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪

紀元二三四九 (西曆一六八九)

元祿二(己巳) (清、康熙二八)

東山天皇 攝政(關白)一條冬經 將軍徳川綱吉

將軍綱吉聖廟に詣す。長崎に唐人屋敷を作る。松平輝貞側衆となる。前田綱紀三家に准す。盲人杉山和一を召出す。北村季吟及
湖春を幕府の歌學方とす。
今井弘濟(管齋)歿。

狩野春雪	七六	狩野春笑	四四
土佐光起	七三	桃田柳榮	四三
狩野益信	六五	高玄岱	四一
小堀政尹	六五	英一蝶	三八
住吉廣澄	五九	狩野洞簫	三七
高泉性激	五七	古岡明譽	三七
狩野永納	五六	佐久間洞巖	三七
狩野常信	五四	鶴澤探山	三五
心越與傳	五一	森川許六	三四
渡邊秀石	五一	尾形光琳	三三
加藤遠澤	四七	狩野周信	三〇
山口雪溪	四六	渡邊秀村	二八
山邊雪岳	四六	尾形乾山	二七
土佐光成	四四	小川破笠	二七
		鳥居清信	二六

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宜
吉田半兵衛(?)
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪

紀元二三五〇 (西曆一六九〇)

元祿三(庚午) (清康熙二九)

東山天皇 關白一條冬經—近衛基熙 將軍德川綱吉

將軍綱吉聖廟に詣す。將軍親ら四書を講ず、林信篤營中に開講す。德川光圀隱居す。蘭醫ケムレル長崎に来る。度會延佳卒。長沼濬齋歿。

狩野春雪	七七	桃田柳榮	四四
土佐光起	七四	高玄借	四二
狩野益信	六六	英一蝶	三九
小堀政尹	六六	狩野洞簫	三八
住吉廣澄	六〇	古岡明譽	三八
高泉性漱	五八	佐久間洞巖	三八
狩野永納	五七	鶴澤探山	三六
狩野常信	五五	森川許六	三五
心越與備	五二	尾形光琳	三一
渡邊秀石	五二	狩野周信	三一
加藤遠澤	四八	渡邊秀朴	二九
山口雪溪	四七	尾形乾山	二八
山邊秀岳	四七	小川破笠	二八
土佐光成	四五	鳥居清信	二七
狩野春笑	四五		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛(?)
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪

紀元二三五二 (西曆一六九二)

元祿四(辛未) (清康熙三〇)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

林信篤著髮して大學頭となる。聖廟を忍岡より昌平坂大成殿に遷す。將軍綱吉柳澤保明の私邸に臨む、爾後屢あり。日蓮宗悲田派を禁じ其僧侶七十人を伊豆諸島に流す。住吉具慶狩野洞雲北村季吟並に法眼となる。湯島靈雲寺建つ。熊澤蕃山歿。黒川道祐歿。佐野紹益歿。

狩野春雪	七八	狩野春笑	四六
土佐光起	七五	桃田柳榮	四五
狩野益信	六七	高玄借	四三
小堀政尹	六七	英一蝶	四〇
住吉廣澄	六一	狩野洞簫	三九
高泉性漱	五九	古岡明譽	三九
狩野永納	五八	佐久間洞巖	三九
狩野常信	五六	鶴澤探山	三七
心越與備	五三	森川許六	三六
渡邊秀石	五三	尾形光琳	三四
加藤遠澤	四九	狩野周信	三三
山口雪溪	四八	渡邊秀朴	三〇
山邊秀岳	四八	尾形乾山	二九
土佐光成	四六	小川破笠	二九
		鳥居清信	二八

百拙元養 二五

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛(?)
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山

紀元二三五二 (西曆一六九二)

元祿五(壬申) (清、康熙三二)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

將軍綱吉昌平坂大成殿の釋奠に臨む。寺院新建を禁ず。德川光圀楠氏の墓を湊川に立つ。高野山徒六百餘人を流に處す。京都大火。

高挑狩土渡山加渡心狩狩高住小狩	玄野野佐邊口藤邊越野野泉吉堀野	岱柳春光秀遠秀與野野性廣政益	四六四七四九五〇五二五三五六六八
河百鳥小尾渡狩尾森鶴佐古狩英	村拙居川形邊野形川澤久間野洞	若元養信笠山朴信川如琳六山巖	二二二三三三三三三三三三三三

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
吉田半兵衛
瀧本坊憲乘
古山師重
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信

紀元二三五三 (西曆一六九三)

元祿六(癸酉) (清、康熙三三)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

將軍綱吉大成殿に詣り。綱吉諸侯を召して中庸周易等を講ず。淺草川に新大橋を架す。釣魚を禁止す。井原西鶴歿。

高桃狩土渡山加渡心狩狩高住小狩	玄野野佐邊口藤邊越野野泉吉堀野	岱柳春光秀遠秀與野野性廣政益	四六四七四九五〇五二五三五六六八
河百鳥小尾渡狩尾森鶴佐古狩英	村拙居川形邊野形川澤久間野洞	若元養信笠山朴信川如琳六山巖	二二二三三三三三三三三三三三

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師宣
菱川師房
古山師重
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信

紀元二三五四 (西曆一六九四)

元祿七(甲戌) (清、康熙三三)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

加茂祭を再興す。柳澤保明老中に准ぜらる。
僧到碩寂。松尾桃青(芭蕉)歿。杉山和一歿。吉川惟足歿。

狩野益信洞七〇	英一蝶四三
小堀政尹蓬七〇	古磯明譽四二
住吉廣澄慶具六四	佐久間洞巖四二
高泉性激六二	鶴澤探山四〇
狩野永納六一	森川許六三九
狩野常信五九	尾形光琳三三
心越興儔五六	狩野周信川三五
渡邊秀石五六	尾形乾山三三
加藤遠澤五二	小川破笠三三
山口雪溪五一	鳥居清信三一
渡邊秀岳五一	百拙元養二八
土佐光成四九	河村若元二七
狩野春笑四九	
田野榮四八	
高玄岱四六	

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師重
古山師房
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信
春洞

紀元二三五五 (西曆一六九五)

元祿八(乙亥) (清、康熙三四)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

萩原重秀の建議を納れて金貨を改造す。知足院を改稱して護持院といひ僧隆光を大僧正とし院家に列す。江戸の犬を中野犬小屋に飼養す。
佐々木志津磨歿。僧公海寂。

住吉廣澄慶具六五	佐久間洞巖四三
高泉性激六三	鶴澤探山四一
狩野永納六二	森川許六四〇
狩野常信六〇	尾形光琳三六
心越興儔五七	狩野周信川三六
渡邊秀石五七	渡邊秀朴三四
加藤遠澤五三	尾形乾山三三
山口雪溪五二	小川破笠三三
山邊秀岳五二	鳥居清信三三
土佐光成五〇	百拙元養二九
狩野春笑五〇	河村若元二八
田野榮四九	
高玄岱四七	
英一蝶四四	
古磯明譽四三	

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師重
古山師房
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信
春洞

紀元二三五六 (西曆一六九六)

元祿九(丙子) (清、康熙三五)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

金銀箔座を定む。桂山影殿を幕府の儒員とす。明正上皇崩御。三奉行をして國繪圖を製らしむ。始て永代橋を架す。

住吉廣澄	六六	狩野周信	三七
狩野永納	六三	渡邊秀朴	三五
狩野常信	六一	尾形乾山	三四
加藤遠石	五八	小川破笠	三四
山口雪澤	五四	鳥居清信	三三
山邊秀岳	五三	百村元養	三〇
土佐光成	五一	河村若元	二九
狩野春笑	五一		
桃田柳榮	五〇		
高玄岱	四八		
英一蝶	四五		
古岡明譽	四四		
佐久間洞巖	四四		
鶴澤探山	四二		
森川許六	四一		
尾形光琳	三九		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師重
古川師房
菱川禪山
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信

紀元二三五七 (西曆一六九七)

元祿一〇(丁丑) (清、康熙三六)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉 大老井伊直興(後直該)

護國寺及護持院成る。萩原重秀の建議により旗下の士に淺草の慶米を給するを停め代ふるに土地を以てす。將軍河村瑞軒を召見

る。北村湖春歿。宮崎安貞歿。松本君山歿。

住吉廣澄	六六	森川許六	四二
狩野永納	六四	尾形光琳	四〇
狩野常信	六二	狩野周信	三八
渡邊秀石	五九	渡邊秀朴	三六
加藤遠澤	五五	尾形乾山	三五
山口雪溪	五四	小川破笠	三五
山邊秀岳	五四	鳥居清信	三四
土佐光成	五二	百村元養	三一
狩野春笑	五二	河村若元	三〇
桃田柳榮	五一	高田敬甫	二五
高玄岱	四九	望月玉蟾	二五
英一蝶	四六		
古岡明譽	四五		
佐久間洞巖	四五		
鶴澤探山	四三		

久隅守景
北島雪山
蘭溪道光
菱川師重
古川師房
菱川禪山
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信

紀元二三五八 (西曆一六九八)

元祿一一(戊寅) (清、康熙三七)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉 大老井伊直興

柳澤保明老中首席となる。東叡山根本中堂成る。江戸の大火(勅額火事)。英一蝶舞を得て三宅島に流さる。佐々宗傳(十竹)歿。木下順庵歿。

住吉廣澄	六八	尾形光琳	四一
狩野永納	六五	狩野周信	三九
狩野常信	六三	渡邊秀朴	三七
加藤遠澤	六〇	尾形乾山	三六
山口雪溪	五六	小川破笠	三六
渡邊秀岳	五五	鳥居清信	三五
土佐光成	五三	百拙元養	三三
狩野春光	五三	河村若元	三一
高田柳榮	五二	高田敬甫	二六
英一蝶	五〇	望月玉蟾	二六
古碕明譽	四七		
佐久間洞巖	四六		
鶴澤探山	四四		
森川許六	四三		

久隅守景(?)
北島雪山
蘭溪道光
菱川師重
古山師重
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信
若芝一山
懷月堂安度(?)

紀元二三五九 (西曆一六九九)

元祿一二(己卯) (清、康熙三八)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉 大老井伊直興

山陵を修理す。旗下の士七千餘人を賑恤す。大奥に節儉を命ず。北村季吟法印となる。高瀬梅盛歿。

住吉廣澄	六九	狩野周信	四〇
狩野永納	六六	渡邊秀朴	三八
狩野常信	六四	尾形乾山	三七
加藤遠澤	六一	小川破笠	三七
山口雪溪	五六	鳥居清信	三六
渡邊秀岳	五六	百拙元養	三三
土佐光成	五四	河村若元	三一
狩野春光	五四	高田敬甫	二七
高野春笑	五一	望月玉蟾	二七
英一蝶	四八	片山楊谷	二五
古碕明譽	四七		
佐久間洞巖	四七		
鶴澤探山	四五		
森川許六	四四		
尾形光琳	四二		

久隅守景(?)
蘭溪道光
菱川師重
菱川師房
古山師重
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信
若芝一山
懷月堂安度(?)

紀元二二六〇 (西曆一七〇〇)

元祿一三(庚辰) (清康熙三九)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉 大老井伊直興

始て日光奉行を置く。將軍綱吉の易經講筵終了す。
鷹司房輔薨。河村瑞軒歿。德川光友薨。德川光圀薨。僧鐵牛寂。

住吉廣澄	七〇	狩野永納	六七	狩野常信	六五	加藤遠	五八	山口雪溪	五七	渡邊秀岳	五七	土佐光成	五五	狩野春笑	五五	高玄岱	五二	英一蝶	四九	古碕明譽	四八	佐久間洞巖	四八	鶴澤探山	四六	森川許六	四五	尾形光琳	四三
狩野周信	四一	渡邊秀朴	三九	尾形乾山	三八	小川破笠	三七	鳥居清信	三四	百拙元養	三三	河村若元	三三	高田敬甫	二八	望月玉蟾	二八	片山楊谷	二六										

一四二

久隅守景(?)
蘭溪道光
菱川師重
古山師房
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信
若芝一山
懷月堂安度(?)

紀元二二六一 (西曆一七〇一)

元祿一四(辛巳) (清康熙四〇)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

淺野長矩營中に吉良義央を傷く。柳澤保明に松平氏を興へ且將軍の偏諱を賜ひて吉保と稱せしむ。關東飢饉。
淺野長矩賜死。僧契沖寂。安藤省庵歿。

住吉廣澄	七一	狩野常信	六六	渡邊秀石	六三	加藤遠	五九	山口雪溪	五八	渡邊秀岳	五八	土佐光成	五六	狩野春笑	五六	高玄岱	五三	英一蝶	五〇	古碕明譽	四九	佐久間洞巖	四九	鶴澤探山	四七	森川許六	四六	尾形光琳	四四	狩野周信	四二
渡邊秀朴	四〇	尾形乾山	三九	小川破笠	三九	鳥居清信	三八	百拙元養	三五	河村若元	三四	高田敬甫	二九	望月玉蟾	二九	片山楊谷	二七	祇園南海	二五												

一四三

久隅守景(?)
蘭溪道光
菱川師重
古山師房
菱川師房
宮崎友禪
小原慶山
狩野福信
若芝一山
懷月堂安度(?)

紀元二三六二 (西曆一七〇二)

元祿一五(壬午) (清、康熙四二)

東山天皇 關白近衛基熙 將軍德川綱吉

窮民を救恤す。堺奉行を復興す。大石良雄等藩主の讐を報ず。國繪圖成る。
中村惕齋歿。僧淨嚴寂。越智越人歿。

住吉廣澄	七二
狩野常信	六七
渡邊秀石	六四
加藤遠澤	六〇
山口雪溪	五九
渡邊秀岳	五九
土佐光成	五七
狩野春笑	五七
高玄岱	五四
英一蝶	五一
古碯明譽	五〇
佐久間洞巖	五〇
鶴澤探山	四八
森川許六	四七
尾形光琳	四五
狩野周信	四三

渡邊秀朴	四一
尾形乾山	四〇
小川破笠	四〇
鳥居清信	三九
百拙元養	三六
河村敬甫	三五
高田敬甫	三〇
望月玉蟾	三〇
片山楊谷	二八
祇園南海	二六
西川祐信	二五

久隅守景	(?)
蘭溪道光	(?)
菱川師重	(?)
古山師房	(?)
菱川師房	(?)
宮崎友禪	(?)
小原慶山	(?)
狩野福信	(?)
若芝一山	(?)
懷月堂安度	(?)

紀元二三六三 (西曆一七〇三)

元祿一六(癸未) (清、康熙四二)

東山天皇 關白近衛基熙 關白左大臣鷹司兼熙 將軍德川綱吉

大石良雄等に死を賜ふ。大和川を修治す。關東諸國大地震死者江戸のみにて三萬七千餘。江戸大火。
松下見林歿。僧派化寂。

住吉廣澄	七三
狩野常信	六八
渡邊秀石	六五
加藤遠澤	六一
山口雪溪	六〇
渡邊秀岳	六〇
土佐光成	五八
狩野春笑	五八
高玄岱	五五
英一蝶	五二
古碯明譽	五一
作久間洞巖	五一
鶴澤探山	四九
森川許六	四八
尾形光琳	四六
狩野周信	四四

渡邊秀朴	四二
尾形乾山	四一
小川破笠	四一
鳥居清信	四〇
百拙元養	三七
河村敬甫	三一
高田敬甫	三一
望月玉蟾	三一
片山楊谷	二九
祇園南海	二七
西川祐信	二六
橘守國	二五

蘭溪道宜	光
菱川師重	房
古山師房	禪
菱川師房	禪
宮崎友禪	山
小原慶山	信
狩野福信	春洞
若芝一山	春洞
懷月堂安度	春洞

紀元二三六四 (西曆一七〇四)

寶永元(甲申) (清康熙四三)

東山天皇 關白左大臣鷹司兼熙 將軍德川綱吉

利根川出水。閉門、逼塞、遠慮の制を定む。狩野常信法眼となる。利根川及荒川を浚濬す。將軍綱吉松平綱豊を養嗣子とす、家宣と改名。柳澤吉保甲斐に封ぜらる。聖堂再建成る。向井去來歿。内藤文章歿。市川團十郎(初代)歿。

住吉廣澄	七四	狩野周信	如四
狩野常信	六九	渡邊秀朴	四三
加藤遠石	六六	尾形乾山	四二
山口雪澤	六一	小川破笠	四二
渡邊秀岳	六一	鳥居清信	四一
土佐光成	五九	百拙元養	三八
狩野春笑	五九	河村若元	三七
高玄岱	五六	高田敬甫	三三
英一蝶	五三	望月玉蟾	三三
古洞明譽	五二	片山楊谷	三〇
佐久間洞巖	五二	祇園南海	二八
鶴澤探山	五〇	西川祐信	二七
森川許六	四九	橋守國	二六
尾形光琳	四七	大岡春卜	二五

蘭溪道光	宣光
菱川師重	房重
古山師房	禪山
菱川師重	禪山
宮崎友禪	山禪
小原福信	山春
狩野福信	山春
若芝一山	春洞
懷月堂安度	春洞
川島重信	春洞

紀元二三六五 (西曆一七〇五)

寶永二(乙酉) (清康熙四四)

東山天皇 關白鷹司基熙 將軍德川綱吉

禁裡御料一萬石を獻す。利根川の浚濬成る。伊勢大神宮に參詣すること風をなす。伊藤仁齋歿。北村季吟歿。桂昌院尼院。僧千呆寂。

住吉廣澄	七五	渡邊秀朴	四四
狩野常信	七〇	尾形乾山	四三
加藤遠石	六七	小川破笠	四三
山口雪澤	六三	鳥居清信	四二
山邊秀岳	六二	百拙元養	三九
渡邊光成	六二	河村若元	三八
土佐春笑	六〇	高田敬甫	三三
狩野春笑	六〇	望月玉蟾	三三
高玄岱	五七	片山楊谷	三一
英一蝶	五四	祇園南海	二九
古洞明譽	五三	西川祐信	二八
佐久間洞巖	五三	橋守國	二七
鶴澤探山	五一	大岡春卜	二六
森川許六	五〇		
尾形光琳	四八		
狩野周信	四六		

蘭溪道光	宣光
菱川師重	房重
古山師房	禪山
菱川師重	禪山
宮崎友禪	山禪
小原福信	山春
狩野福信	山春
若芝一山	春洞
懷月堂安度	春洞
川島重信	春洞

紀元二二三六六 (西曆一七〇六)

寶永三(丙戌) (清、康熙四五)

東山天皇 關白鷹司兼熙 將軍德川綱吉 大老柳澤吉保

病馬病犬を治養せしむ。寶字銀を造る。寶物の制を定む。
神原堂洲殺。戸田茂睡殺。栗山潛峯殺。獨僧湛寂。

狩野常信	七二	尾形乾山	四五
渡邊秀石	六八	小川破笠	四四
加藤遠澤	六四	鳥居清信	四三
山口雪溪	六三	百拙元養	四〇
渡邊秀岳	六三	河村若元	三九
土佐光成	六一	高田敬甫	三四
狩野春笑	六一	望月玉蟾	三四
高玄岱	五八	片山楊谷	三二
英一蝶	五五	祇園南海	三〇
古碕明譽	五四	西川祐信	二九
佐久間洞巖	五四	橋守國	二八
鶴澤探山	五二	大岡春卜	二七
森川許六	五一	宮川長春	二五
尾形光琳	四九		
狩野周信	四七		
渡邊秀朴	四五		

蘭溪道光	
菱川師重	
古山師房	
菱川師重	
宮崎友禪	
小原慶山	
狩野福信	
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	

紀元二二三六七 (西曆一七〇七)

寶永四(丁亥) (清、康熙四六)

東山天皇 關白鷹司兼熙 關白左大臣近衛家熙 將軍德川綱吉 大老柳澤吉保

雜說流言落書捨文を禁す。東海地地震、遠州荒井關陷没す。諸國の銀札を停む。富士山噴火、寶永山生ず。
榎本其角殺。松浦交翠殺。服部嵐雪殺。

狩野常信	七二	尾形乾山	四五
渡邊秀石	六九	小川破笠	四五
加藤遠澤	六五	鳥居清信	四四
山口雪溪	六四	百拙元養	四一
渡邊秀岳	六四	河村若元	四〇
土佐光成	六二	高田敬甫	三五
狩野春笑	六二	望月玉蟾	三五
高玄岱	五九	片山楊谷	三三
英一蝶	五六	祇園南海	三一
古碕明譽	五五	西川祐信	三〇
佐久間洞巖	五五	橋守國	二九
鶴澤探山	五三	大岡春卜	二八
森川許六	五二	宮川長春	二六
尾形光琳	五〇	渡邊始興	二五
狩野周信	四八	高田良齋	二五
渡邊秀朴	四六		

蘭溪道光	
菱川師重	
古山師房	
菱川師重	
宮崎友禪	
小原慶山	
狩野福信	
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	

紀元二二六八 (西曆一七〇八)

寶永五(戊子) (清、康熙四七)

東山天皇 關白左大臣近衛家熙 將軍德川綱吉 大老柳澤吉保

京都錢座にて大錢を造る。京都大火、内裡火く。
山田宗偏歿。伊藤坦庵歿。關孝和歿。林道榮歿。

狩野常信	七三	小川破笠	四六
加藤遠澤	六六	鳥居清信	四五
山口雪溪	六五	百拙元養	四二
渡邊秀岳	六五	河村若元	四一
土佐光成	六三	高田敬甫	三六
狩野春笑	六三	望月玉蟾	三六
高玄岱	六〇	片山楊谷	三四
英一蝶	五七	祇園南海	三二
古碕明譽	五六	西川祐信	三一
佐久間洞巖	五六	橋守國	三〇
鶴澤探山	五四	大岡春卜	二九
森川許六	五三	宮川長春	二七
尾形光琳	五一	渡邊始興	二六
狩野周信	四九	高田良齋	二六
尾形乾山	四七		

菱川師宣	
古山師重	
菱川師房	
宮崎友禪	
小原慶山	
狩野福信	
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	

紀元二二六九 (西曆一七〇九)

寶永六(己丑) (清、康熙四八)

東山天皇—中御門天皇 關白近衛家熙 太政大臣近衛基熙 將軍德川綱吉—德川家宣 大老柳澤吉保

將軍綱吉薨す。殺生の禁を解く。前代の近臣松平輝貞等を罷む。大錢の通用を停め金銀貨を改造せしむ。大赦を行ふ。鐵砲の禁を解く。幕府奥向への贈品等を戒む。落座を廢す。新井白石通鑑綱目を進講す。柳澤吉保隱居す。東山天皇御讓位、中御門天皇御踐祚。僧隆光を退く。英一蝶赦されて江戸に歸る。新井白石命を受けて基督教徒を糾問す。東山上皇崩御。宇都宮遷座廢。岡島石梁歿。河合曾良歿。淺井了意歿。

狩野常信	七四	渡邊秀朴	四八
加藤遠澤	六七	尾形乾山	四七
山口雪溪	六六	小川破笠	四七
渡邊秀岳	六六	鳥居清信	四六
土佐光成	六四	百拙元養	四三
狩野春笑	六四	河村若元	四二
高玄岱	六一	高田敬甫	三七
英一蝶	五八	望月玉蟾	三七
古碕明譽	五七	片山楊谷	三五
佐久間洞巖	五七	祇園南海	三三
鶴澤探山	五五	西川祐信	三二
森川許六	五四	橋守國	三一
尾形光琳	五二	大岡春卜	三〇
狩野周信	五〇	宮川長春	二八

渡邊始興 二七
高田良齋 二七

菱川師宣	
古山師重	
菱川師房	
宮崎友禪	
小原慶山	
狩野福信	
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	
近藤清春	

紀元二三七〇 (西曆一七一〇)

寶永七(庚寅) (清、康熙四九)

中御門天皇 關白攝政太政大臣近衛家熙 將軍德川家宣

高(深見)玄符幕府の備員となる。將軍家宣關人を延見す。將軍近衛基熙を延見す。荻原重秀を罰す。林信篤の出仕を停む。閑院宮家立つ。中御門天皇御即位。徳川綱條禮儀類典を獻す。新井白石京都に使す。僧惟然寂。

狩野常信	七五	尾形乾山	四八
加藤遠澤	六八	小川破笠	四八
山口雪溪	六七	鳥居清信	四七
渡邊秀岳	六七	百拙元養	四四
土佐光成	六五	河村若元	四三
狩野春笑	六五	高田敬甫	三八
高玄岱	六二	望月玉蟾	三八
英一蝶	五九	片山楊谷	三六
古碯譽	五八	祇園南海	三四
佐久間洞巖	五八	西川祐信	三三
鶴澤探山	五六	橋守國	三三
森川許六	五五	大岡春卜	三一
尾形光琳	五三	宮川長春	二九
狩野周信	五一	渡邊始興	二八
狩邊秀朴	四九	高田良齋	二八

菱川師重	宜
古山師房	重
菱川師房	重
宮崎友禪	(?)
小原慶山	春洞
狩野福信	春洞
若芝一山	春洞
懷月堂安度	春洞
川島重信	春洞
近藤清春	春洞

紀元二三七一 (西曆一七一二)

正徳元(辛卯) (清、康熙五〇)

中御門天皇 攝政太政大臣近衛家熙 將軍德川家宣 大老井伊直該(直興)

三宅觀綱、室鳩巢を幕府の備員とす。新井白石從五位下に叙し筑後守に任ぜらる。白石營中にて朝鮮使を辨拆す。淺見綱齋歿。野々宮定基歿。北條國水歿。

狩野常信	七六	鳥居清信	四八
加藤遠澤	六九	百拙元養	四五
山口雪溪	六八	河村若元	四四
渡邊秀岳	六八	高田敬甫	三九
狩野春笑	六六	望月玉蟾	三九
高玄岱	六三	片山楊谷	三七
英一蝶	六〇	祇園南海	三五
古碯譽	五九	西川祐信	三四
佐久間洞巖	五九	橋守國	三三
鶴澤探山	五七	大岡春卜	三三
森川許六	五六	宮川長春	三〇
尾形光琳	五四	渡邊始興	二九
狩野周信	五二	高田良齋	二九
渡邊秀朴	五〇		
尾形乾山	四九		
小川破笠	四九		

菱川師重	宜
古山師房	重
菱川師房	重
宮崎友禪	(?)
小原慶山	春洞
狩野福信	春洞
若芝一山	春洞
懷月堂安度	春洞
川島重信	春洞
近藤清春	春洞
羽川珍重	春洞

紀元二二二七二 (西曆一七二二)

正徳二(壬辰) (清、康熙五二)

中御門天皇 攝政近衛家熙 | 攝政左大臣九條輔實 將軍德川家宣 大老井伊直該

新井白石命を受けて關人に海外の事情を問ふ。道中人馬の制を定め參勤諸侯齒簿の人員を限る。諸國郡名の訛稱を匡す。評定所を戒む。白石の彈劾により萩原重秀を罷む。新銀鑄造を停め古銀貨を使用せしむ。佐渡奉行を復す。將軍家宣薨す。

狩野常信	七七	鳥居清信	四九
加藤遠澤	七〇	百拙元養	四六
山口雪溪	六九	河村若元	四五
渡邊秀岳	六九	高田敬甫	四〇
狩野春笑	六七	望月玉蟾	四〇
高玄岱	六四	片山楊谷	三八
英一蝶	六一	祇園南海	三六
古岡明譽	六〇	西川祐信	三五
佐久間洞巖	六〇	橋守國	三四
鶴澤探山	五八	大岡春卜	三三
森川許六	五七	宮川長春	三一
尾形光琳	五五	渡邊始興	三〇
狩野周信	五三	高田良齋	三〇
渡邊秀朴	五一		
尾形乾山	五〇		
小川破笠	五〇		

菱川師重	宜	古山師重	房
菱川師重	房	小原慶山	信
狩野福山	信	若芝一山	春
懷月堂安度	山	川島重信	信
近藤清春	重	羽川珍重	重

紀元二二二七三 (西曆一七二三)

正徳三(癸巳) (清、康熙五三)

中御門天皇 攝政左大臣九條輔實 將軍德川家繼 大老井伊直該

金銀改鑄を命ず。旗下の奢侈を戒む。京都大火。大高坂芝山段。萩原重秀歿。

狩野常信	七八	鳥居清信	五〇
加藤遠澤	七一	百拙元養	四七
山口雪溪	七〇	河村若元	四六
渡邊秀岳	七〇	高田敬甫	四一
狩野春笑	六八	望月玉蟾	四一
高玄岱	六五	片山楊谷	三九
英一蝶	六二	祇園南海	三七
古岡明譽	六一	西川祐信	三六
佐久間洞巖	六一	橋守國	三五
鶴澤探山	五九	大岡春卜	三四
森川許六	五八	宮川長春	三三
尾形光琳	五六	渡邊始興	三二
狩野周信	五四	高田良齋	三一
渡邊秀朴	五二		
尾形乾山	五一		
小川破笠	五一		

菱川師重	房	古山師重	房
菱川師重	房	小原慶山	信
狩野福山	信	若芝一山	春
懷月堂安度	山	川島重信	信
近藤清春	重	羽川珍重	重

紀元二二三七四 (西曆一七一四)

正德四(甲午) (清康熙五三)

中御門天皇 攝政左大臣九條輔實 將軍德川家繼 大老井伊直該

大奥の仕女給島等を罰す。山村長太夫芝居断絶す。大老井伊直該隱居す。密貿易を禁す。故萩原重秀を追罰す。通貨買収を禁す。淺草に鑄錢所を置く。柳澤吉保(保山)卒。貝原益軒歿。

加藤遠澤	七二	鳥居清信	五一
山口雪溪	七一	百拙元養	四八
渡邊秀岳	七一	河村若元	四七
狩野春笑	六九	高田敬甫	四二
高玄岱	六六	望月玉蟾	四二
英一蝶	六三	片山楊谷	四〇
古礪明譽	六二	祇園南海	三八
佐久間洞巖	六二	西川祐信	三七
鶴澤探山	六〇	橘守國	三六
森川許六	五九	大岡春卜	三五
尾形光琳	五七	宮川長春	三三
狩野周信	五五	渡邊始興	三三
渡邊秀朴	五三	高田良齋	三三
尾形乾山	五二	奥村政信	二五
小川破笠	五二		

菱川師宣	(?)
古山師重	(?)
菱川師房	(?)
小原慶山	(?)
狩野福信	(?)
若芝一山	(?)
懷月堂安度	(?)
川島重信	(?)
近藤清春	(?)
羽川珍重	(?)

紀元二二三七五 (西曆一七一五)

正德五(乙未) (清康熙五四)

中御門天皇 攝政左大臣九條輔實 將軍德川家繼

長崎貿易の新例を定む。江戸辻番の制を定む。酒造額を制限す。養子及婚姻につきて合す。鳥山芝軒歿。稻生若水歿。古満休伯歿。森川許六歿。

加藤遠澤	七三	百拙元養	四九
山口雪溪	七二	河村若元	四八
渡邊秀岳	七二	高田敬甫	四三
狩野春笑	七〇	望月玉蟾	四三
高玄岱	六七	片山楊谷	四一
英一蝶	六四	祇園南海	三九
古礪明譽	六三	西川祐信	三八
佐久間洞巖	六三	橘守國	三七
鶴澤探山	六一	大岡春卜	三六
森川許六	六〇	宮川長春	三四
尾形光琳	五八	渡邊始興	三三
狩野周信	五六	高田良齋	三三
渡邊秀朴	五四	奥村政信	二六
尾形乾山	五三	英村政信	二五
小川破笠	五三		
鳥居清信	五二		

古山師重	(?)
菱川師房	(?)
小原慶山	(?)
狩野福信	(?)
若芝一山	(?)
懷月堂安度	(?)
川島重信	(?)
近藤清春	(?)
羽川珍重	(?)

紀元二二三七六 (西曆一七一六)

享保元(丙申) (清康熙五五)

中御門天皇 攝政關白九條輔實 將軍德川家繼—德川吉宗

江戸大火。人身拘引賣買等を禁ず。將軍家繼薨す、德川吉宗嗣ぐ。側用人間部詮房罷む。淺草鑄錢所を廢す。大典を戒飭す。
安藤年山歿。山口素堂歿。小西來山歿。

加藤遠澤	七四	高田敬甫	四四
山口雪溪	七三	望月玉蟾	四四
渡邊秀岳	七三	片山楊谷	四二
高玄岱	六八	祇園南海	四〇
英一蝶	六五	西川祐信	三九
古岡明譽	六四	橘守國	三八
佐久間洞巖	六四	大岡春卜	三七
鶴澤探山	六二	宮川長春	三五
尾形光琳	五九	渡邊始興	三四
狩野周信	五七	高田良齋	三四
渡邊秀朴	五五	奧村政信	二七
尾形乾山	五四	英一蜂	二六
小川破笠	五四		
鳥居清信	五三		
百拙元養	五〇		
河村若元	四九		

菱川師房(?)	
小原慶山	
狩野福信	
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	
近藤清春	
羽川珍重	
鶴澤探鯨	

紀元二二三七七 (西曆一七一七)

享保二(丁酉) (清康熙五六)

中御門天皇 關白九條輔實 將軍德川吉宗

將軍吉宗關人を延見す。大岡忠相江戸町奉行となる。諸侯に勤儉尙武を諭示す。武家法度の文を天和の舊草に復す。朝鮮聘禮を天和の舊儀に復す。護持院火く。護國寺を護持院、同寺内觀音堂を護國寺と改稱せしむ。
田中丘隅歿。增穂殘口歿。岩田涼苑歿。

加藤遠澤	七五	高田敬甫	四五
山口雪溪	七四	望月玉蟾	四五
渡邊秀岳	七四	祇園南海	四一
高玄岱	六九	西川祐信	四〇
英一蝶	六六	橘守國	三九
古岡明譽	六五	大岡春卜	三八
佐久間洞巖	六五	宮川長春	三六
鶴澤探山	六三	渡邊始興	三五
狩野周信	五八	高田良齋	三五
渡邊秀朴	五六	奧村政信	二八
尾形乾山	五五	英一蜂	二七
小川破笠	五五		
鳥居清信	五四		
百拙元養	五一		
河村若元	五〇		

菱川師房(?)	
小原慶山	
狩野福信	
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	
近藤清春	
羽川珍重	
鶴澤探鯨	

紀元二三三七八 (西曆一七一八)

享保三(戊戌) (清、康熙五七)

中御門天皇 關白九條輔實 將軍德川吉宗

將軍吉宗追鳥狩を戸田志村に行ふ。風俗を肅正し華美の衣服を禁す。密貿易を禁す。桂山彰嚴等儒者を以て評定所に出仕す。伊勢參宮流行す。

並河天民歿。三宅觀瀾歿。谷桑山(重運)歿。僧祐天寂。

加藤遠澤 七七
山口雪溪 七五
渡邊秀岳 七五
高玄岱 七〇
英一蝶 六七
佐久間洞巖 六六
鶴澤探山 六四
狩野周信 五九
渡邊秀朴 五七
尾形乾山 五六
小川破笠 五六
鳥居清信 五五
百拙元養 五二
河村若元 五一
高田敬甫 四六

望月玉蟾 四六
祇園南海 四二
西川祐信 四一
橘守國 四〇
大岡春卜 三九
宮川長春 三七
渡邊始興 三六
高田良齋 三六
奧村政信 二九
英一蜂 二八
伊藤蘭嶋 二五

菱川師房(?)
小原慶山
狩野福信
若芝一山
壤月堂安度
川島重信
川島信清
近藤清春
羽川珍重
鶴澤探鯨

紀元二三三七九 (西曆一七一九)

享保四(己亥) (清、康熙五八)

中御門天皇 關白九條輔實 將軍德川吉宗

江戸町火消いろは組始まる。狩野周信法眼となる。稻生若水其著庶物類纂を獻す。安藤東野歿。佐藤剛齋(直方)歿。天野桃隣歿。池西言水歿。

加藤遠澤 七七
山口雪溪 七六
渡邊秀岳 七六
高玄岱 七一
英一蝶 六八
佐久間洞巖 六七
鶴澤探山 六五
狩野周信 六〇
渡邊秀朴 五八
尾形乾山 五七
小川破笠 五七
鳥居清信 五六
百拙元養 五三
河村若元 五二
高田敬甫 四七
望月玉蟾 四七

祇園南海 四三
西川祐信 四二
橘守國 四一
大岡春卜 四〇
宮川長春 三八
渡邊始興 三七
高田良齋 三七
奧村政信 三〇
英一蜂 二九
伊藤蘭嶋 二六

菱川師房(?)
小原慶山
狩野福信
若芝一山
懷月堂安度
川島重信
川島信清
近藤清春
羽川珍重
渡邊秀鯨
鶴澤探鯨

紀元二三八〇 (西曆一七二〇)

享保五(庚子) (清、康熙五九)

中御門天皇 關白九條輔實 將軍德川吉宗

大奥の仕女五十餘人を出す。徳川宗興大日本史二百五十卷を獻す。浦賀港を開く。洋書輸入の禁を解く。
中野攝謀殺。

加藤遠澤	七九	祇園南海	四四
山口雪溪	七七	西川祐信	四三
渡邊秀岳	七七	橋守國	四二
高玄岱	七二	大岡春卜	四一
英一蝶	六九	宮川長春	三九
佐久間洞巖	六八	渡邊始興	三八
鶴澤探山	六六	高田良齋	三八
狩野周信	六一	奧村政信	三一
渡邊秀朴	五九	英村一蜂	三〇
尾形乾山	五八	伊藤蘭	二七
小川破笠	五八	狩野古信	二五
鳥居清信	五七		
百拙元養	五四		
河村敬元	五三		
高田敬甫	四八		
望月玉蟾	四八		

菱川師房	(?)
小原慶山	
狩野福信	春洞
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	
川島信清	
近藤清春	
立林何帛	
羽川珍重	
西村重長	
鶴澤探鯨	

紀元二三八一 (西曆一七二一)

享保六(辛丑) (清、康熙六〇)

中御門天皇 關白九條輔實 將軍德川吉宗

松岡玄達を京都より召す。將軍吉宗親しく三奉行の裁判を聽く。鷲尾隆長等増上寺法會に勅使として臨み將軍に敬意を缺きて罪を得。古林見宜をして神田橋門外にて醫書を講ぜしむ、諸醫師來聽く。澁川敬尹等をして曆を作らしめ林信如をして令義解を校正せしむ。目安箱を評定所外に置きて言路を開く。小石川薬園を置く。获生茂綱(徂徠)をして六諭衍義を和解せしむ。
森鷗外殺。

加藤遠澤	七九	高田敬甫	四九
山口雪溪	七八	望月玉蟾	四九
渡邊秀岳	七八	祇園南海	四五
高玄岱	七三	西川祐信	四四
英一蝶	七〇	橋守國	四三
佐久間洞巖	六九	大岡春卜	四二
鶴澤探山	六七	宮川長春	四〇
狩野周信	六一	渡邊始興	三九
渡邊秀朴	六〇	高田良齋	三九
尾形乾山	五九	奧村政信	三二
小川破笠	五九	英村一蜂	三一
鳥居清信	五八	伊藤蘭	二八
百拙元養	五五	狩野古信	二六
河村敬元	五四		

小原慶山	
狩野福信	春洞
若芝一山	
懷月堂安度	
川島重信	
川島信清	
近藤清春	
立林何帛	
羽川珍重	
西村重長	
鶴澤探鯨	

紀元二三八二 (西曆一七二二)

享保七(壬寅) (清・康熙六二)

中御門天皇 關白九條輔實 二條綱平 將軍德川吉宗

諸侯に納米を課し參勤交替の期を緩にす。節儉を令す。隱賣女を禁ず。施藥院を小石川藥園に置き貧病者に投藥す。出版條例を定む。阿部友之進をして相武二州に採藥せしむ。市中の手習師匠に六驗術義を與へて兒女習字の手本となさしむ。近衛基熙變。

加藤遠澤	八〇	望月玉蟾	五〇
山口雪溪	七九	祇園南海	四六
渡邊秀岳	七九	西川祐信	四五
高玄岱	七四	橘守國	四四
英一蝶	七一	大岡春卜	四三
佐久間洞巖	七〇	宮川長春	四一
鶴澤探山	六八	渡邊始興	四〇
狩野周信	六三	高田良齋	四〇
渡邊秀朴	六一	奧村政信	三三
尾形乾山	六〇	英一蜂	三二
小川破笠	六〇	伊藤蘭嶼	二九
鳥居清信	五九	狩野古信	二七
百拙元養	五六	彭城百川	二五
河村若元	五六		
高田敬甫	五一		
望月玉蟾	五一		
祇園南海	四七		

小原慶山	
狩野福信	春洞
若芝一山	
懷月堂安度	(?)
川島重信	
川島清春	
近藤清春	
立林何帛	
羽川珍重	
西村重長	
鶴澤探鯨	

紀元二三八三 (西曆一七二三)

享保八(癸卯) (清・雍正元)

中御門天皇 關白二條綱平 將軍德川吉宗

大學頭林信篤辭し子信充代る。成島信通(錦江)奥坊主より士分に轉ず。足高の制を定む。今大路正珍をして醫書を校訂せしむ。佐々木芝龍歿。梨本(鴨)祐之歿。僧千那寂。

加藤遠澤	八一	西川祐信	四六
山口雪溪	八〇	橘守國	四五
渡邊秀岳	八〇	大岡春卜	四四
英一蝶	七二	宮川長春	四二
佐久間洞巖	七一	渡邊始興	四一
鶴澤探山	六九	高田良齋	四一
狩野周信	六四	奧村政信	三四
渡邊秀朴	六二	英一蜂	三三
尾形乾山	六一	伊藤蘭嶼	三〇
小川破笠	六一	狩野古信	二八
鳥居清信	六〇	彭城百川	二六
百拙元養	六〇	土佐光芳	二五
河村若元	五六		
高田敬甫	五一		
望月玉蟾	五一		
祇園南海	四七		

小原慶山	
狩野福信	春洞
若芝一山	
懷月堂安度	(?)
川島重信	
川島清春	
近藤清春	
立林何帛	
羽川珍重	
西村重長	
鶴澤探鯨	

紀元二三三八四 (西曆一七二四)

享保九(甲辰) (清、雍正二)

中御門天皇 關白二條綱平 將軍德川吉宗

柳澤吉里を大和郡山に移封す。細井廣澤を召出す。諸侯旗下等に節儉を令す。中根元圭皇和通曆を刊行す。
近松門左衛門殿。西川如見殿。

加藤遠澤	八二	西川祐信	四七
山口雪溪	八一	橘守國	四六
渡邊秀岳	八一	大岡春卜	四五
英一蝶	七三	宮川長春	四三
佐久間洞巖	七二	渡邊始興	四二
鶴澤探山	七〇	高田良齋	四二
狩野周信	六五	奧村政信	三五
渡邊秀朴	六三	英一蜂	三四
尾形乾山	六二	伊藤蘭	三一
小川破笠	六二	狩野古信	二九
鳥居清信	六一	彭城百川	二七
百拙元養	五八	土佐光芳	二六
河村敬元	五七	五十嵐(吳)凌明	二五
高田敬甫	五二		
望月玉蟾	五二		
祇園南海	四八		

若芝一山
川島重信
川島清信
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
羽邊秀重
渡村重長
西澤探鯨

紀元二三三八五 (西曆一七二五)

享保一〇(乙巳) (清、雍正三)

中御門天皇 關白二條綱平 將軍德川吉宗

大判金を改造せしむ。水野忠恒營中にて毛利師就を傷く。室鳩巢奥儒者となる。
新井白石卒。儒司兼源義。十寸見河東殿。奈良屋茂右衛門殿。

加藤遠澤	八三	橘守國	四七
山口雪溪	八二	大岡春卜	四六
渡邊秀岳	八二	宮川長春	四四
佐久間洞巖	七三	渡邊始興	四三
鶴澤探山	七一	高田良齋	四三
狩野周信	六六	奧村政信	三六
渡邊秀朴	六四	英一蜂	三五
尾形乾山	六三	伊藤蘭	三二
小川破笠	六三	狩野古信	三〇
鳥居清信	六二	彭城百川	二八
百拙元養	五九	土佐光芳	二七
河村敬元	五八	五十嵐(吳)凌明	二六
高田敬甫	五三	福王雪岑	二五
望月玉蟾	五三	永田昔齋	二五
祇園南海	四九		
西川祐信	四八		

若芝一山
川島重信
川島清信
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
羽邊秀重
渡村重長
西澤探鯨

紀元二三八六 (西曆一七二六)

享保一一(丙午) (清、雍正四)

中御門天皇 關白二條綱平—近衛家久 將軍德川吉宗

將軍吉宗小金原に狩す。中井鑑庵の私塾懷德書院に土地を附與す。
水間沾徳殿。園女(智鏡尼)歿。

加藤遠澤	八四
山口雪溪	八三
渡邊秀岳	八三
佐久間洞巖	七四
鶴澤探山	七二
狩野周信	六七
渡邊秀朴	六五
尾形乾山	六四
小川破笠	六四
鳥居清信	六三
百拙元養	六〇
河村敬元	五九
高田敬甫	五四
望月玉蟾	五四
祇園南海	五〇
西川祐信	四九
橋守國	四八
大岡春卜	四七
宮川長春	四五
渡邊始興	四四
高田良齋	四四
奧村政信	三七
英一政	三六
伊藤蘭	三三
狩野古川	三一
彭城百芳	二九
土佐光芳	二八
五十嵐(吳)俊明	二七
福王雪岑	二六
永田昔齋	二六
山科李蹊	二五
横井也	二五

若芝一山(?)
川島重信(?)
川島信清
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
渡邊秀重
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三八七 (西曆一七二七)

享保一二(丁未)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

町奉行大岡忠相白子屋事件を裁断す。將軍吉宗萩生徂徠を召見す。甘蔗を濱殿の園内に試作す。
後藤長山歿。高野百里歿。

加藤遠澤	八五
山口雪溪	八四
渡邊秀岳	八四
佐久間洞巖	七五
鶴澤探山	七三
狩野周信	六八
渡邊秀朴	六六
尾形乾山	六五
小川破笠	六五
鳥居清信	六四
百拙元養	六一
河村敬元	六〇
高田敬甫	五五
望月玉蟾	五五
祇園南海	五一
西川祐信	五〇
橋守國	四九
大岡春卜	四八
宮川長春	四六
渡邊始興	四五
高田良齋	四五
奧村政信	三八
英一政	三七
伊藤蘭	三四
狩野古川	三三
彭城百芳	三〇
土佐光芳	二八
五十嵐(吳)俊明	二八
福王雪岑	二七
永田昔齋	二七
山科李蹊	二六
横井也	二六

川島重信(?)
川島信清
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
渡邊秀重
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三三八八 (西曆一七二八)

享保一三(戊申) (清、雍正六)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

足利學校の藏書を檢せしむ。江戸出水。

荻生徂徠歿。岡島冠山歿。板倉復軒歿。松浦霞沼歿。

加藤遠澤	八六	橘守國	五〇
山口雪溪	八五	大岡春卜	四九
渡邊秀岳	八五	宮川長春	四七
佐久間洞巖	七六	渡邊始興	四六
鶴澤探山	七四	高田良齋	四六
狩野周信 <small>如川</small>	六九	奧村政信	三九
渡邊秀朴	六七	英村一峰	三八
尾形乾山	六六	伊藤蘭嶠	三五
小川破笠	六六	狩野古信 <small>川榮</small>	三三
鳥居清信	六五	彭城百川	三一
百拙元養	六二	土佐光芳	二九
河村若元	六一	五十嵐 <small>吳</small> 凌明	二九
高田敬甫	五六	福王雪岑	二八
望月玉蟾	五六	永田昔齋	二八
祇園南海	五二	山科李蹊	二七
西川祐信	五一	横井也有	二七

川島重信(?)
川島信清
近藤清春
立林何帛重
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三三八九 (西曆一七二九)

享保一四(己酉) (清、雍正七)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

將軍吉宗射禮を復す。天一坊の處刑。泰商に米の買占を許す。交趾より船載の象江戸に来る。

跡部光海歿。九條輔實歿。田中邸隅(冠帶)歿。入江若水歿。

加藤遠澤	八七	大岡春卜	五〇
山口雪溪	八六	宮川長春	四八
渡邊秀岳	八六	渡邊始興	四七
佐久間洞巖	七七	高田良齋	四七
鶴澤探山	七五	奧村政信	四〇
尾形乾山	六七	英村一峰	三九
小川破笠	六七	伊藤蘭嶠	三六
鳥居清信	六六	狩野古信 <small>川榮</small>	三四
百拙元養	六三	彭城百川	三三
河村若元	六二	土佐光芳	三〇
高田敬甫	五六	五十嵐 <small>吳</small> 凌明	三〇
望月玉蟾	五七	福王雪岑	二九
祇園南海	五三	永田昔齋	二九
西川祐信	五二	山科李蹊	二八
橘守國	五一	横井也有	二八

川島重信(?)
川島信清
近藤清春
立林何帛重
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九〇 (西曆一七三〇)

享保一五(庚戌) (清、雍正八)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

幕府普救類方、東醫寶鑑を刊行す。諸侯の納米を停め參勤交替の制を復舊す。田安家立つ。德川宗堯薨。德川繼友薨。深見自休(十左衛門)歿。志賀隨翁歿(百八十三歳と云ふ)。

加藏遠澤	八八	渡邊始興	四八	御園中渠	二五
山口雪溪	八七	高田良齋	四八	淺井圖南	二五
渡邊秀岳	八七	奧村政信	四一		
佐久間洞巖	七八	英一	四〇		
渡邊秀朴	六九	伊藤蘭	三七		
尾形乾山	六八	狩野古信	三七		
小川破笠	六八	彭城百川	三三		
百拙元養	六四	土佐光芳	三一		
河村若元	六三	五十嵐(吳)凌明	三一		
高田敬甫	五八	福王雪岑	三〇		
望月玉蟾	五八	永田昔齋	三〇		
祇園南海	五四	山科李蹊	二九		
西川祐信	五三	横井也	二九		
橋守國	五二	柳澤淇園	二五		
大岡春卜	五一	烏居清倍	二五		
宮川長春	四九	加藤文麗	二五		

川島清信
近藤何春
立林重帛
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九一 (西曆一七三一)

享保一六(辛亥) (清、雍正九)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

江戸大火。浪人を檢査す。清人沈南蘋來りて畫法を傳ふ。向井滄洲歿。一井鳳梧歿。

山口雪溪	八八	高田良齋	四九	淺井圖南	二六
渡邊秀岳	八八	奧村政信	四二	佐脇嵩之	二五
佐久間洞巖	七八	英一	四一		
渡邊秀朴	七〇	伊藤蘭	三八		
尾形乾山	六九	狩野古信	三六		
小川破笠	六九	彭城百川	三四		
百拙元養	六五	土佐光芳	三三		
河村若元	六四	五十嵐(吳)凌明	三二		
高田敬甫	五九	福王雪岑	三一		
望月玉蟾	五九	永田昔齋	三一		
祇園南海	五四	山科李蹊	三〇		
西川祐信	五四	横井也	三〇		
橋守國	五三	柳澤淇園	二六		
大岡春卜	五二	烏居清倍	二六		
宮川長春	五〇	加藤文麗	二六		
渡邊始興	四九	御園中渠	二六		

川島清信
近藤何春
立林重帛
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九二 (西曆一七三二)

享保一七(壬子) (清、雍正一〇)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

靈元法皇崩御、中御門天皇御親政。騎射の舊儀を復す。諸國饑饉。
二條綱平薨。矢野拙齋歿。林信篤(風岡)卒。平野金華歿。鯉屋杉風歿。

山口雪溪	八九	高田良齋	五〇	佐脇嵩之	二六
渡邊秀岳	八九	奧村政信	四三	村井中漸	二五
佐久間洞巖	八〇	英一	四二		
渡邊秀朴	七一	伊藤蘭	三九		
尾形乾山	七〇	彭城百川	三五		
小川破笠	七〇	土佐光芳	三三		
百拙元養	六六	五十嵐(吳)凌明	三三		
河村敬元	六五	福王雪岑	三三		
高田敬甫	六〇	永田昔齋	三三		
望月玉蟾	六〇	山科李蹊	三一		
祇園南海	五六	横井也	三一		
西川祐信	五五	柳澤淇園	二七		
橘守國	五四	鳥居清倍	二七		
大岡春卜	五三	加藤文麗	二七		
宮川長春	五一	御園中渠	二七		
渡邊始興	五〇	淺井圖南	二七		

川島清信
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九三 (西曆一七三三)

享保一八(癸丑) (清、雍正一一)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

中根條右衛門命を受けて割圓八線法、曆算全書を譯す。获生徂徠の遺著度量考を刊行せしむ。米價昂騰し餓死者九十餘萬。諸國に疫癘流行す。窮民を救恤す。小笠原貞任を小笠原島に遣はす。横谷宗環歿。天野信景歿。青木鷲水歿。内藤露沾歿。

渡邊秀岳	九〇	高田良齋	五一	淺井圖南	二六
佐久間洞巖	八一	奧村政信	四四	佐脇嵩之	二七
渡邊秀朴	七二	英一	四三	村井中漸	二六
尾形乾山	七一	伊藤蘭	四〇		
小川破笠	七一	彭城百川	三六		
百拙元養	六七	土佐光芳	三四		
河村敬元	六六	五十嵐(吳)凌明	三四		
高田敬甫	六一	福王雪岑	三三		
望月玉蟾	六一	永田昔齋	三三		
祇園南海	五七	山科李蹊	三三		
西川祐信	五六	横井也	三三		
橘守國	五五	柳澤淇園	二八		
大岡春卜	五四	鳥居清倍	二八		
宮川長春	五二	加藤文麗	二八		
渡邊始興	五一	御園中渠	二八		

川島清信
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九四 (西曆一七三四)

享保一九(甲寅) (清雍正二二)

中御門天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

德川宗翰禮儀類典を獻す。

紀伊國屋文左衛門(千山)歿。室鳩巢歿。小宮山桂軒歿。油煙齋貞柳歿。桑岡貞佐歿。

高田良齋	渡邊始興	宮川長春	大岡春卜	橋守國	西川祐信	祇園南海	望月玉蟾	高田敬甫	河村若元	百拙元養	小川破笠	尾形乾山	渡邊秀朴	佐久間洞巖	渡邊秀岳
五三	五三	五四	五六	五七	五八	五九	六三	六三	六八	六九	七三	七三	七三	八二	九二
佐脇嵩之	淺井圖南	御蘭中渠	加藤文麗	鳥居清倍	柳澤淇園	横井也	山科李	永田昔齋	福王雪岑	五十嵐(吳)浚明	土佐光芳	彭城百川	伊藤蘭	英藤一	奧村政信
二八	二九	二九	二九	三〇	三四	三四	三五	三五	三六	三六	三八	四二	四一	四四	四五

村井中漸 二七
月岡雪鼎 二五
鳥山石燕 二五

川島信清(?)
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
渡邊秀重
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九五 (西曆一七三五)

享保二〇(乙卯) (清雍正二三)

中御門天皇 櫻町天皇 關白近衛家久 將軍德川吉宗

青木昆陽蕃考を刊行し甘藷播種を奨励す。中御門天皇御讓位、櫻町天皇御受禪、次で御即位。幕府院の御料一萬石を獻す。始めて人參座を置く。

壺井義知歿。鷹見爽鳩歿。細井廣澤歿。佐々木文山歿。

高田良齋	渡邊始興	宮川長春	大岡春卜	橋守國	西川祐信	祇園南海	望月玉蟾	高田敬甫	河村若元	百拙元養	小川破笠	尾形乾山	渡邊秀朴	佐久間洞巖
五三	五三	五四	五六	五七	五八	五九	六三	六三	六八	六九	七三	七三	七三	八三
淺井圖南	御蘭中渠	加藤文麗	鳥居清倍	柳澤淇園	横井也	山科李	永田昔齋	福王雪岑	五十嵐(吳)浚明	土佐光芳	彭城百川	伊藤蘭	英藤一	奧村政信
三〇	三〇	三〇	三〇	三四	三四	三五	三五	三六	三六	三八	四二	四二	四五	四六

佐脇嵩之 二九
村井中漸 二八
月岡雪鼎 二六
鳥山石燕 二六
石川豐信 二五

川島信清(?)
近藤清春
立林何帛
羽川珍重
渡邊秀重
西村重長
鶴澤探鯨

紀元二三九六 (西曆一七三六)

元文元(丙辰) (清、乾隆元)

櫻町天皇 關白近衛家久—關白左大臣二條吉忠 將軍德川吉宗

類聚國史、圖太曆、日本後紀纂を校正せしむ。清國商船の渡來を減じて毎歲四隻とす。大岡忠相寺社奉行となる。
荷田春滿歿。伊藤東涯歿。古筆了仲歿。近衛家熙歿。玉木正英歿。

佐久間洞巖	八四	英	一	蜂	四六
渡邊秀朴	七五	伊藤	蘭	嶋	四三
尾形乾山	七四	彭城	百	川	三九
小川破笠	七四	土佐	光	芳	三七
百拙元養	七〇	五十嵐	吳	浚	明三七
河村若元	六九	福王	雪	岑	三六
高田敬甫	六四	永田	昔	齋	三六
望月玉蟾	六四	山科	李	蹊	三五
祇園南海	六〇	横井	也	有	三五
西川祐信	五九	柳澤	淇	園	三一
橋守國	五八	鳥居	清	倍	三一
大岡春卜	五七	加藤	文	麗	三一
宮川長春	五五	御園	中	渠	三一
渡邊始興	五四	淺井	圖	南	三一
高田良齋	五四	佐脇	嵩	之	三〇
奧村政信	四七	村井	中	漸	二九

月岡雪鼎	二七
鳥山石燕	二七
石川豐信	二六
宋紫石	二五

近藤清春	何	重	帛
立川何重	珍	重	帛
羽邊重	秀	重	帛
渡邊重	長	重	帛
西村重	鶴	重	帛
泉澤必探	鶴	重	帛
吉村必探	泉	重	帛
岡野石圃	吉	重	帛

紀元二三九七 (西曆一七三七)

元文二(丁巳) (清、乾隆二)

櫻町天皇 關白左大臣二條吉忠—關白右大臣一條兼香 將軍德川吉宗

中御門上皇崩御。江戸大火、寛永寺焼く。甘藷漸く弘まり上總下總等に及ぶ。
池永道雲歿。近衛家久歿。二條吉忠歿。有賀長伯歿。小倉尚齋歿。安積濟泊歿。

渡邊秀朴	七六	伊藤	蘭	嶋	四四
尾形乾山	七五	彭城	百	川	四〇
小川破笠	七五	土佐	光	芳	三八
百拙元養	七一	五十嵐	吳	浚	明三八
河村若元	七〇	福王	雪	岑	三七
高田敬甫	六五	永田	昔	齋	三七
望月玉蟾	六五	山科	李	蹊	三六
祇園南海	六一	横井	也	有	三六
西川祐信	六〇	柳澤	淇	園	三三
橋守國	五九	鳥居	清	倍	三三
大岡春卜	五八	加藤	文	麗	三三
宮川長春	五六	御園	中	渠	三三
渡邊始興	五五	淺井	圖	南	三三
高田良齋	五五	佐脇	嵩	之	三一
奧村政信	四八	村井	中	漸	二八
英村一蜂	四七	月岡	雪	鼎	二八

鳥山石燕	二八
石川豐信	二七
宋紫石	二六
熊代江熊	二五
祇園尚齋	二五
伊藤若冲	二五

近藤清春	何	重	帛
立川何重	珍	重	帛
羽邊重	秀	重	帛
渡邊重	長	重	帛
西村重	鶴	重	帛
泉澤必探	鶴	重	帛
吉村必探	泉	重	帛
岡野石圃	吉	重	帛

紀元二二九九八 (西曆一七三九)

元文三(戊午) (清、乾隆三)

櫻町天皇 關白左大臣一條兼香 將軍德川吉宗

大阪に銅座を置く。庶物類纂續編成る。大嘗會を復興す。
並河五一(誠所)歿。推本才麿歿。中川乙由歿。伊丹鬼貫歿。深川湖十歿。

渡邊	尾形	小川	百拙	河村	高田	望月	祇園	西川	橋守	大岡	宮川	渡邊	高田	奧村	伊藤
七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六
彭城	土佐	五十嵐	福王	永田	山科	橫井	柳澤	鳥居	加藤	御園	淺井	佐脇	村井	月岡	鳥山
四一	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
石川	宋紫	熊代	祇園	伊藤	河原	櫻井									
二八	二七	二七	二七	二七	二七	二七									

石川	宋紫	熊代	祇園	伊藤	河原	櫻井
二八	二七	二七	二七	二七	二七	二五

近藤	立林	羽川	渡邊	西村	鶴澤	泉村	吉野	岡野	宮川
清春	何重	珍重	秀重	重長	探鯨	必東	石山	春圃	水圃

紀元二二九九九 (西曆一七三九)

元文四(己未) (清、乾隆四)

櫻町天皇 關白左大臣一條兼香 將軍德川吉宗

德川宗春に發居を命ず。青木昆陽を召出す。露船奥州沖に来る。
澤村琴所歿。香川景新歿。

渡邊	尾形	小川	百拙	河村	高田	望月	祇園	西川	橋守	大岡	宮川	渡邊	高田	奧村	伊藤
七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六
彭城	土佐	五十嵐	福王	永田	山科	橫井	柳澤	鳥居	加藤	御園	淺井	佐脇	村井	月岡	鳥山
四一	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
石川	宋紫	熊代	祇園	伊藤	河原	櫻井									
二八	二七	二七	二七	二七	二七	二七									

石川	宋紫	熊代	祇園	伊藤	河原	櫻井
二八	二七	二七	二七	二七	二七	二五

近藤	立林	羽川	渡邊	西村	鶴澤	泉村	吉野	岡野	宮川
清春	何重	珍重	秀重	重長	探鯨	必東	石山	春圃	水圃

紀元二四〇〇 (西曆一七四〇)

元文五(庚申) (清、乾隆五)

櫻町天皇 關白左大臣一條兼香 將軍德川吉宗

西川正休を召出す。新嘗祭を復興す。
篠崎東海歿。香月牛山歿。志田野坡歿。宮古路豐後豫歿。

渡邊秀朴	七九	彭城百川	四三	石川豐信	三〇
尾形乾山	七八	土佐光芳	四一	宋紫石	二九
小川破笠	七八	五十嵐(吳)凌明	四一	熊代緒江	二八
百川元養	七四	福王雪岑	四〇	祇園尚濂	二八
河村若元	七三	永田昔齋	四〇	伊藤若冲	二八
高田敬甫	六八	山科李蹊	三九	河原保壽	二七
望月玉蟾	六八	横井也	三九	櫻井雪館	二六
祇園南海	六四	柳澤淇園	三五	與謝雪村	二五
西川祐信	六三	鳥居清倍	三五		
橋守國	六二	加藤文麗	三五		
大岡春卜	六一	御園中渠	三五		
宮川長春	五九	淺井圖南	三五		
渡邊始興	五八	佐脇嵩之	三四		
高田良齋	五八	村井中漸	三三		
奧村政信	五一	月岡雪鼎	三三		
伊藤蘭嶼	四七	鳥石燕	三一		

近藤清春
立林何重
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤必探
泉村必探
吉野周東
岡野石山
宮川春水

紀元二四〇一 (西曆一七四一)

寬保元(辛酉) (清、乾隆六)

櫻町天皇 關白左大臣一條兼香 將軍德川吉宗

武德編年集成成る。青木昆陽命を受けて古文書を武藏國多摩秩父二郡に採訪す。一橋家立つ。
三宅尚齋歿。葦丸屋貞山歿。

渡邊秀朴	八〇	彭城百川	四四	石川豐信	三一
尾形乾山	七九	土佐光芳	四二	宋紫石	三〇
小川破笠	七九	五十嵐(吳)凌明	四二	熊代緒江	二九
百川元養	七五	福王雪岑	四一	祇園尚濂	二九
河村若元	七四	永田昔齋	四一	伊藤若冲	二九
高田敬甫	六九	山科李蹊	四〇	河原保壽	二八
望月玉蟾	六九	横井也	四〇	櫻井雪館	二七
祇園南海	六五	柳澤淇園	四〇	與謝雪村	二七
西川祐信	六四	鳥居清倍	三六	宮崎高陽	二五
橋守國	六三	加藤文麗	三六		
大岡春卜	六二	御園中渠	三六		
宮川長春	六〇	淺井圖南	三六		
渡邊始興	五九	佐脇嵩之	三五		
高田良齋	五九	村井中漸	三五		
奧村政信	五二	月岡雪鼎	三三		
伊藤蘭嶼	四八	鳥石燕	三三		

近藤清春
立林何重
羽川珍重
渡邊秀溪
西村重長
鶴澤必探
泉村必探
吉野周東
岡野石山
宮川春水

紀元二四〇二 (西曆一七四二)

寬保二(壬戌) (清、乾隆七)

櫻町天皇 關白左大臣一條兼香 將軍德川吉宗

青木昆陽命を受けて古文書を關東諸國に採訪す。江戸並に關東諸國出水。
木村高教歿。早野巴人歿。紀海音歿。

伊藤蘭	奧村信	高田齋	渡邊興	宮川春	大岡春	橋守國	西川海	祇園信	望月蟾	高田敬	河村元	百抽元	小川養	尾形笠	渡邊山
四九	五三	六〇	六一	六三	六四	六五	六六	六七	七〇	七〇	七五	七六	七八	八〇	八一
鳥山石	月岡雪	村井中	佐中漸	淺井之	御圖南	加藤麗	鳥居倍	柳澤園	横井有	山科李	永田齋	福王岑	五十嵐	土佐芳	彭城川
三三	三三	三五	三六	三七	三七	三七	三七	三七	三七	四一	四二	四二	四三	四三	四五

鈴木春	中山高	宮崎陽	與謝村	櫻井館	河原壽	伊藤冲	祇園濂	熊代江	宋紫石	石川信
二五	二六	二六	二七	二八	二九	三〇	三〇	三一	三一	三一

宮川春	岡野石	吉野周	泉必	鶴澤探	西村重	渡邊長	羽川溪	立林何	近藤清
春	水	山	東	鯨	長	卜	重	重	春

紀元二四〇三 (西曆一七四三)

寬保三(癸亥) (清、乾隆八)

櫻町天皇 關白左大臣一條兼香 將軍德川吉宗

諸侯の留守居を戒飭す。林信充命を受けて大阪記を撰ぶ。
田中省吾(富春叟)歿。

伊藤蘭	奧村信	高田齋	渡邊興	宮川春	大岡春	橋守國	西川海	祇園信	望月蟾	高田敬	河村元	百抽元	小川養	尾形笠	渡邊山
五〇	五四	六一	六一	六二	六四	六五	六六	六七	七一	七二	七六	七七	七七	八一	八二
鳥山石	月岡雪	村井中	佐中漸	淺井之	御圖南	加藤麗	鳥居倍	柳澤園	横井有	山科李	永田齋	福王岑	五十嵐	土佐芳	彭城川
三四	三四	三六	三七	三八	三八	三八	三八	四二	四二	四三	四三	四三	四四	四四	四六

諸葛	建部	鈴木	中山	宮崎	與謝	櫻井	河原	伊藤	祇園	熊代	宋紫	石川
二五	二五	二六	二七	二七	二八	二九	三〇	三一	三一	三一	三一	三一

鶴會	大西	宮川	岡野	吉村	泉必	鶴澤	西村	渡邊	羽川	立林	近藤
光	白	水	山	東	鯨	長	溪	重	重	春	春

